

東海地区

大学図書館協議会誌



61

2 0 1 6

東海地区大学図書館協議会

東海地区大学図書館協議会誌 第 61 号 2016

目 次

巻 頭 言	新しい時代へ向けた図書館サービス 名古屋学院大学学術情報センター長	三井 哲	1
講 演 要 旨	最近の図書館の動向 ～素敵な図書館と素敵なライブラリアンとの出会い～ 愛知大学名古屋図書館 課長	中村 直美	2
講 演 要 旨	伝わる声の出し方・話し方 声と話し方コンサルタント	赤間 裕子	11
講 演 要 旨	大学図書館 100 連発 ー フツーの大学図書館でもできる「小さな工夫」 「良い事例」を学びあう アカデミック・リソース・ガイド株式会社代表取締役	岡本 真	19
行 事	第 70 回（2016 年度）東海地区大学図書館協議会 総会・研究集会		31
施 設 紹 介	東海学園大学図書館名古屋キャンパス		39
	名古屋女子大学学術情報センター		40
	日本福祉大学付属図書館 東海分館		41
	名城大学ナゴヤドーム前キャンパス図書館		42
会 則 等			43
総会当番館一覧			47
加 盟 館 一 覧			48
役 員 館 一 覧			52
研 修 会 一 覧			54
広 告 主 一 覧			

新しい時代へ向けた図書館サービス

名古屋学院大学学術情報センター長

三 井 哲

この夏一番のイベント、リオのオリンピックが無事閉幕し、わが国の選手団は史上最多の41個のメダルを獲得しました。このオリンピックのニュースが流れた時に、しばしば64年の東京オリンピックのことが話題になりました。私はちょうどその年、高校1年生でしたが、高校の体育館がバレーボールの練習場として提供されたその見返りだったのでしょうか、全校生徒に1人当たり2枚の入場券が（有料で）配付されました。おかげで私は、後楽園ジムのボクシングや、駒沢球技場のサッカーの試合を見に行くことができました。また、授業を抜け出して行ったのか、昼休みで行けたのかよく覚えていませんが、図書館に行って、テレビで柔道などの中継を見た覚えがあります。

当時の図書館に設置されていた情報機器といえば、このテレビぐらいで、図書館はひたすら図書の閲覧と貸出を行う場でした。大学に行ってから、図書館規模の違いはあっても、提供するサービスは大同小異であったように思います。

その後、VTRが登場したり、音響機器やそれを利用したソフトの充実、あるいはパソコンの普及によって、視聴覚教室が整備されたり、情報教室や図書館でVTRやDVDなどの機器が整備され、ソフトを閲覧できるようになりました。東京オリンピックの時代の学生には想像のつかないサービスでしょう。

さらに近年になると、学生の学習に対する姿勢が変化する中で、講義の方法にも工夫が加えられ、とくにアクティブラーニングという手法が教育効果が高いと言うことで広く取り入れられるようになり、その実践の場、あるいはグループ学習の場として図書館が利用されることが多くなりました。

アクティブラーニングを円滑に実施するためには、スキャナーやプリンターなどの周辺機器を備えたグループ学習室でオープンディスカッションスペースなどもあるラーニング・コモンズというスペースが必要とされますが、新たにその施設を設置することは負担が大きいと言うことで、多くの大学では図書館の一面を利用して整備しているケースが多いようです。

他方、地域密着、地域との共存という観点から、地域住民が体育館やプールなどの運動施設や図書館の利用を開放する大学も増えてきています。先日、訪問した岐阜市立中央図書館ぎふメディアコスモスでは、高校生が勉強するための快適な環境を提供していましたが、利用できる学生数は限られており、また、図書館から離れた地域に住む学生は手軽に利用することが難しいでしょう。また、今後、高齢化の進展により、リタイアした人の時間つぶしの読書の場としても図書館の需要が高まることが考えられます。そして、公営の施設で対応しきれなくなった時には、各地の大学図書館にも、こうした役割を期待されるようになるような気がします。すると初めのうちは、場の提供だけですむかも知れませんが、やがて、設備や図書の品揃えに対する要望も出てくることも考えられます。

さらには、平成25年度から始まった地域再生・活性化の拠点となる大学作りに取り組むという「地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）」が、平成27年度には地方創生推進事業と絡めたCOC+事業として、さらなる地域との連携を求められるようになりました。こうした動きに対しては、カリキュラムだけではなく、大学図書館にも何らかの対応を求められることを覚悟しなければならないでしょう。

図書館に求められる役割、機能は時代とともに変化していますが、今後は一層大きな変化が求められる時代になりそうです。変化の方向を見定め、前もって対応して行こうという心構えが必要でしょう。

最近の図書館の動向

～素敵な図書館と素敵なライブラリアンとの出会い～

愛知大学名古屋図書館 課長

中 村 直 美

大学図書館の移転から学んだこと

2012 年 4 月愛知大学は新名古屋キャンパス（名古屋市中村区）の開設にともない新たな図書館を開館しました。新名古屋図書館は旧キャンパスの図書館（みよし市）と比べて半分のスペース（約 5,000 平方メートル）となり開架図書も半減（約 20 万冊）となりましたが、開館年度（2012 年度）から年々来館者数・帯出数ともに右肩上がりが増加をし続けています。この来館者数の増加の理由は、図書館がキャンパスにおいて必要不可欠な学習・研究環境として位置づけられているだけではありません。そこで働く図書館員が提供する図書館サービスの影響が非常に大きな要因と考えています。

私はキャンパスの開設から遡ること 3 年前（2009 年 4 月）に定期人事異動でそれまで勤務していた財務課から全くの勤務経験がない大学図書館へ異動をしてきました。司書の資格は所持していませんし、図書館情報学などの図書館に関する体系立てた専門的な教育を受けていません。長きにわたり図書館に勤務した図書館員の方々にとっては「図書館素人」です。この「図書館素人」である私に、蔵書数 50 万冊以上、サービス対象学生 7,000 名以上・教職員約 200 名という規模の大きな大学図書館の移転を担当させるとは、愛知大学はなんてチャレンジングな大学だと考えたものです。事務室内では「目録」「分類」「レファレンス」「ILL」「選書」など今まで他部署で勤務した際には聞いたことがない図書館用語が飛び交います。さらに「アクティブ・ラーニング」「ラーニング・コモンズ」「機関リポジトリ」など次から次に新しい用語も増えてきました。特に新しい用語については、本学の図書館員でも知識がないもの

ばかり。本当に困りました。そんな時頼らせていただいたのは他大学の図書館員の方々や書店や什器メーカーの方など図書館業界の方でした。本当に皆さんころよい方ばかりで、惜しげもなく図書館に関する知識や実践されている図書館活動を教えてくださいました。その成果が今の愛知大学名古屋図書館に活かされていると考えています。

（愛知大学名古屋図書館）



「図書館素人」の私が図書館管理職として、必要最低限やってこられたのは次のことがあったからだと考えています。

- (1) 大学図書館の基本的なことを図書館情報学の文献で独学
- (2) 私立大学図書館協会、国立情報学研究所や大学図書館問題研究会などの研究会・研修会に参加
- (3) 図書館に関わる人達から直接話を聞いて情報収集
- (4) 大学・公共・専門図書館の見学

なかでも重視したのが(3)と(4)です。最も頼りにさせていただいたのが近隣他大学の図書館員の諸先輩の方々であり、愛知県内外の公共図書館の方々でした。さらに「話を聞く」よりも「図書館

を見る」ことです。図書館施設やサービスを見るだけでなく、利用者の声を聞くことができます。そのため大学図書館に限らず全国の公共図書館、専門図書館などへ足を運び見学をさせていただきました。

素敵な図書館と

素敵なライブラリアンとの出会い

普段働いている勤務館以外の図書館に足を運ぶことは大きな刺激を受けます。書架1つ閲覧席1つとっても、それぞれが工夫されていることに気がつきます。また勤務館で提供しているサービスが、訪問先ではもっと成長・発展されているサービスを目にしたり、勤務館がすでに時代遅れとなるサービスを提供していることに気づきます。館種は違いますが公共図書館や専門図書館で得た知識を基に、大学図書館で新たなサービスを提供するヒントになることもあります。今回私が訪問見学をさせていただいた図書館から印象に残る図書館をいくつかご紹介をさせていただきます。もちろん名古屋大学附属図書館中央図書館も素晴らしい施設・サービスを提供していると感じていますが、研修会の会場となっていることもありますから、研修会参加者自らで素晴らしさを実感していただきたいと思い省略をさせていただきます。

【大学図書館の部】

(1) 上智大学ラーニング・コモンズ (2011年10月訪問)

5年前となりますが、すでにラーニング・コモンズが整備されています。



左上から PC の充電装置、右上が車輪付きのホ

ワイトボード。当時は既製品の車輪付きホワイトボードはありませんでした。写真のようなボードを什器メーカーに製造してもらったそうです。右下は学習デスクの TA 配置スケジュールです。学部学科毎に専属の TA がいます。訪問したのは東日本大震災から半年後でした。震災時その後の余震時には書架の本は随分落下したと聞きました。幸い大きなケガ人はいなかったそうです。このお話を伺い建設中の愛知大学名古屋図書館の書架全部に落下予防の装置をつけることとしました。

(2) 千葉大学アカデミック・リンクセンター (2012年10月訪問)

千葉大学アカデミック・リンクセンターは、理想的な学習空間として整備されています。

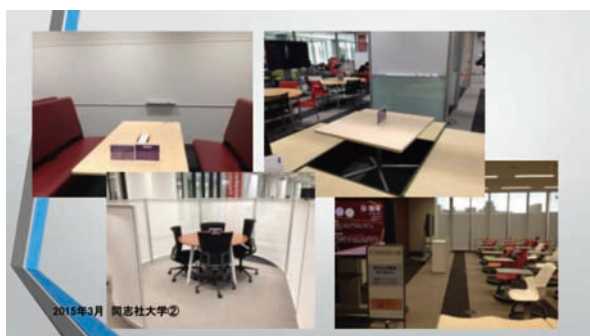


左上がアカデミック・リンクセンターの入口です。入口付近には写真左下・階段教室のようなホールがあります。ここは図書館外の位置づけとなっていて飲食等も可能です。毎週1回お昼の休憩時間に、教員による「アカリン・アワー」というミニ講演会が開催されます。写真にはありませんが教材作成ができるスタジオなどの装置も充実しています。学習支援デスク、各教員用の棚、開放感のある共有スペースがあります。

(3) 同志社大学ラーニング・コモンズ (2015年3月訪問)

同志社大学のラーニング・コモンズは図書館ではなく、教務課の上の階にあります。図書館は別棟で広いキャンパスで徒歩10分ほどのところにあります。カフェ・ダイナー、和室、セミナールー

ムなど充実施設となっています。

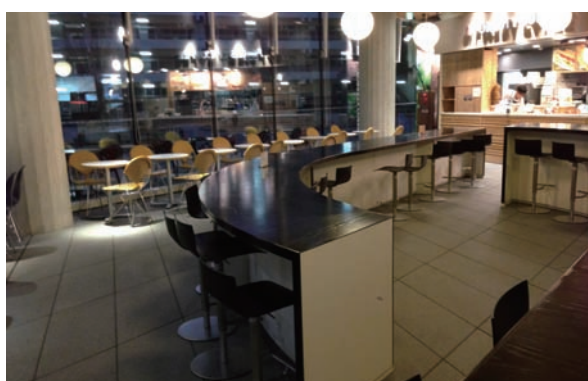


(4) 明治大学和泉図書館（2013年2月訪問）

大学図書館の部として最後にご紹介するのが明治大学和泉図書館です。写真で分かりますようにキャンパスの入口すぐ右に図書館があり、明治大学和泉キャンパスのシンボルの施設となっています。学生数は1万5千人ほどで年間来館者数は約100万人。また開館後1年で北は北海道から南は沖縄まで全国から約1万人の図書館関係者や行政関係者が見学されたそうです。



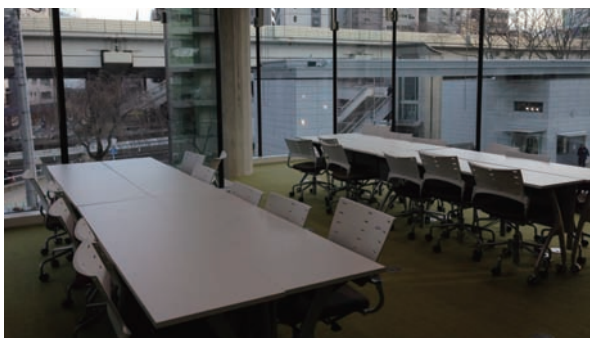
図書館の入館ゲートの横には約200名を収容できるホールがあり、多くのイベントが開催されています。



入館ゲートの近くにはカフェがあります。夕方6時以降はカフェの営業が終了され、その後は無料で使える学習スペースとして利用できます。



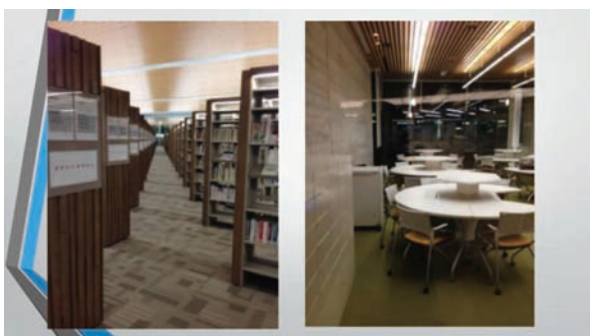
こちらの図書館はサインが特徴的です。至るところにデジタルサイネージが使われていたり、NDCの説明パネルが「本」の形をしていたり、トイレのサインも可愛いです。返却棚もシックなデザインです。サインには「禁止事項」を掲示するものはありません。利用者を気持ち良く迎え入れる姿勢がうかがえます。



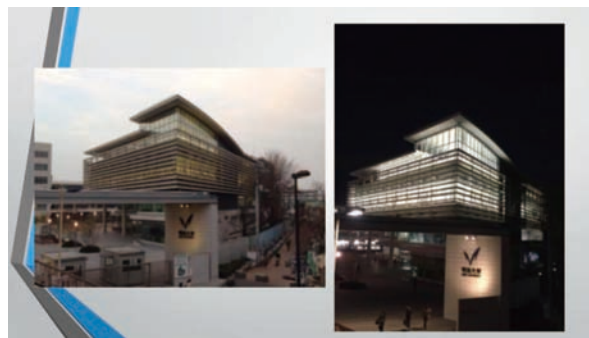
グループ学習室です。某OA機器メーカーの社員から会議で使わせてほしいと要望がきたそうです。写真奥には中央高速道路が見られます。居心地・景色ともとても素晴らしいです。



左側の写真は館内の空調設備の様子です。床に吹き出し口があり、空調の消音効果があります。棚板の奥が下がっていて地震で揺れた際にも本が落下しない様なつくりになっています。照明の多くは書架のうえにある間接照明となっています。



この図書館が絶妙なのは書架を斜めに配置しています。この間を歩いていると書架に引き込まれそうな感覚を覚えます。さらに本の背表紙を見て手に取りたくなります。



昼と夜の和泉図書館の様子です。私は今まで6度見学をしています、毎回新しい発見があり楽しめます。明治大学和泉図書館は2013年度の日本図書館協会建築賞を受賞しています。

当時の事務長から聞いたお話ですと新館建設にあたり、図書館員が分担して全国の100館以上の図書館を見学したそうです。その英知の賜物といえます。

【公共図書館の部】

(1) 鳥取県立図書館

日本一の県立図書館と呼ばれているのが鳥取県立図書館です。鳥取県立図書館はビジネス支援サービスで有名です。ビジネス支援サービスを提供するために金融機関や行政機関との連携をする一方で、ビジネス・レファレンスに対応するため大変多くの参考資料を用意し、常に最新版のものを用意しています。一例として1冊10万円以上もする「東商信用録」やJISハンドブックも全点収蔵されています。それに応じる形でレファレンスサービスが充実しています。専門図書館と全国の公共図書館とのネットワークで地域の課題を解決しています。

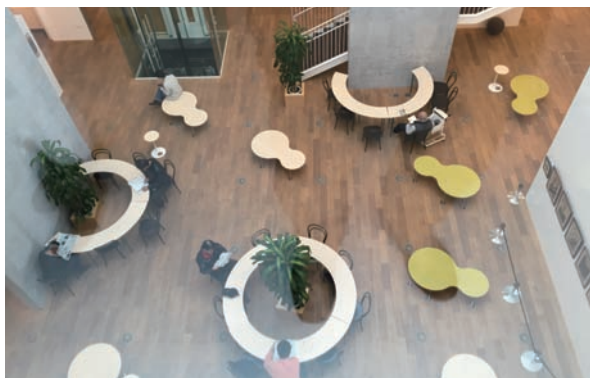


2015年の図書館総合展で開催されたレファレンス大賞で最優秀賞を受賞しています。もちろん電子化されたレファレンス資料もありますが、大部分はペーパーです。



一方で地域資料の多さも特筆すべきもので圧巻です。県内の公的サービス機関が発行している資料の多くも収集しています。

(2) 塩尻市立図書館（えんぱーく）



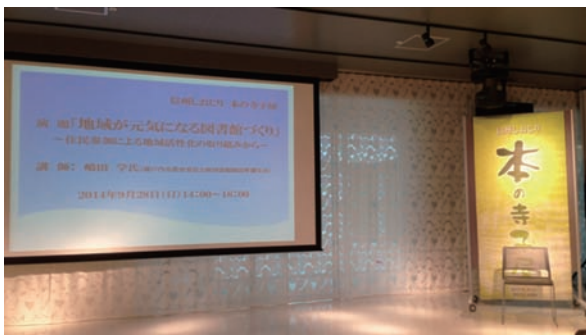
塩尻市立図書館は行政機関等が入居している複合施設「えんぱーく」の中核施設です。



塩尻市は、筑摩書房を創業した故古田晃さんの故郷です。図書館へは筑摩書房とご遺族のご意向で寄贈された資料と『ちくま文庫』、『ちくま学芸文庫』、『ちくま新書』などあわせて約6,000冊を置くコーナーをつくっています。



塩尻市立図書館の書架は、例えば映画のチラシと関連する書籍、落語のCDと関連する書籍といったように資料の混配をしています。これは利用者目線での発想です。



「本の寺子屋」というイベントを毎月のように開催しています。図書館と市民、本と市民を結ぶ試みです。



別棟の駐車場への通路に貼り出されている写真。新着図書の背表紙を撮影して毎週張り替えているそうです。しかも6つある分館すべてに写真を送っているそうです。塩尻市立図書館はLibrary Of the Year 2015の優秀賞を受賞しています。

(3) 伊那市立伊那図書館

長野県伊那市立図書館はLibrary of the 2013の大賞を受賞した図書館です。



こちらは街にある観光案内所です。図書館の廃棄本がおかれています。図書館が貸出数に応じて配布するクーポン「リブラ」は地域通貨となっていて廃棄本と交換ができます。また「リブラ」を使うと協定店で割引サービスがあります。図書館を軸にしたまちの振興策といえます。



伊那市は中央構造線のうえにあるまちです。図書館入口には、その様子が描かれています。



その横には「鈴木福くん」の像があります。福くんのお祖母様は伊那市在住で、地域の皆さんにぜひ見てもらいたいと思い寄贈されました。ここに来た人たちは、よくこの場で記念写真を撮影しているようです。



昔飯田線を走っていた汽車の模型をつくって展示しています。お年寄りが懐かしむそうです。



「題名のない本棚」は本の題名を隠して、本の紹介メモをつけて展示・貸出をしています。



本の帯の使い方、分類ごとにまとめてあります。



入口までの様子です。向かって右側は子供コーナーがあり、ガラス越しに展示がされています。



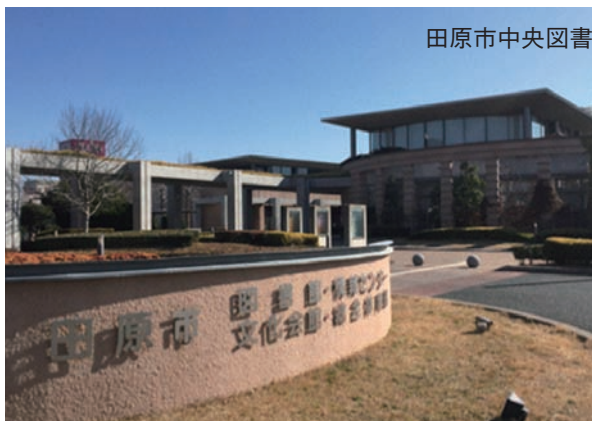
伊那市内には高遠図書館があります。こちらは古文書が豊富に収蔵されています。写真は江戸時代の浅間山の噴火している様子が描かれた資料です。よく見ると村ごとに噴火により亡くなった方の人数の記載があります。



エントランスです。図書館だけでなく、体育館、情報センターなどとの複合施設の中にあります。

(4) 田原市中央図書館

愛知県田原市中央図書館をご紹介します。



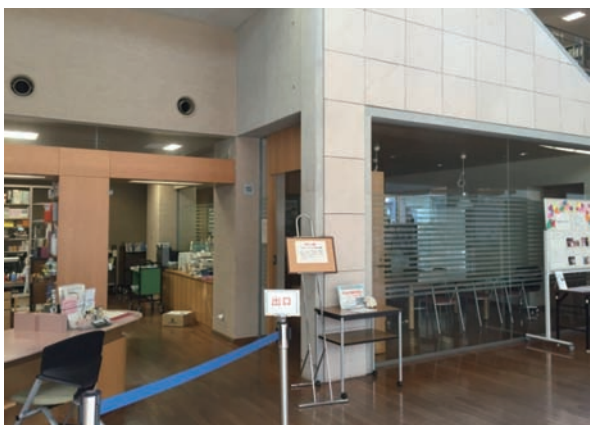
田原市中央図書館



読み聞かせのコーナーです。カーテン閉め照明を落とすと天井には星空が描かれます。



ちょっとしたスペースを使いリラックスができるコーナーを設けています。



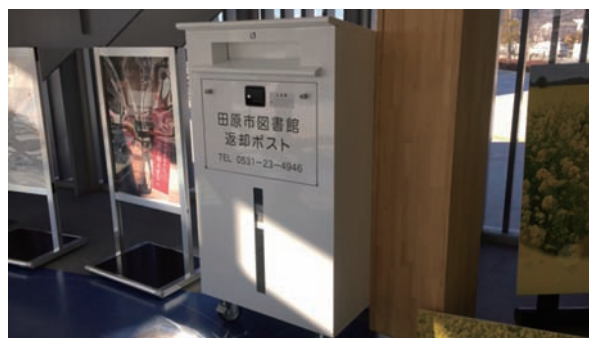
ガラス張りの館長室はカウンターの横にあり、いつでも館長が利用者を迎え入れてくれます。



展示が豊富です。「あの人が選んだ10冊」では田原市長や田原市出身のタレント光浦さんの紹介本があります。



行政に関連した展示も多くあります。時にパブリックコメントを投函するボックスがあったりします。地元の大学の広報誌や愛知県議会の記録なども丁寧にファイリングされています。地元の観光案内などの掲示も豊富です。



最寄りの豊橋鉄道渥美線三河田原駅には、返却ポストがあります。利用者への配慮です。

こうやって、全国の大学図書館や公共図書館を巡っていると多くの図書館員に出会います。司書教諭を退職し独立系司書教諭と名乗る方、私立大学附属中学・高校の司書教諭で絵本の研究者、先生のための授業に役立つデータベースの推進をしている方、元大学図書館事務長で定年退職後「独立系ライブラリアン」と名乗り全国の若い図書館員を激励して回る方、カラテ家と名乗る大学図書館員、図書館史を研究する国立大学図書館員、日本で一番貧乏の専門図書館の図書館長、市立図書館長から県立図書館長に転じたダンディーな方、元保母さんの肩書きをもつ図書館長、大学図書館を離れ入試課で勤務しながら公共図書館で子供たちに情報リテラシーを教える大学職員、横断検索

エンジンを提供する社長 etc 図書館員や図書館に関わる方々と出会うと、多くの気づきがありました。皆さんからは図書館に対する熱い思い聞かせていただき、その熱い思いを図書館づくりに生かしていきたいと考えています。

真を使っています。仕事が辛くなったとき苦しい時、この写真を見て全国いろんなところで頑張っている図書館員がいることを思い出し日々の仕事に励んでいます。

大学図書館員に伝えたいこと

今回報告をさせていただいたことは、あまり日常の図書館業務に関わるものではありません。「アクティブ・ラーニング」「ラーニング・コモンズ」「機関リポジトリ」「ILL」や「目録・分類」といったテーマは、図書館専門職として長く勤めてこられた方だからこそお話できるものです。その点「図書館素人」の私がお話できることは限られています。短い自分自身の図書館勤務を通じて知りえたこと、いろんな図書館を見て、そこで勤務する人と話、図書館に対する熱い思いを知る。その気持ちを人から人へつなげていく。そうすると良い図書館が伝染していきます。大学図書館に限らず日本や世界には数え切れないほどの図書館があります。その1つ1つには個性があり、われわれに多くの新しい学びを提供してくれます。

まとめとして大学図書館員に伝えたいことを3つ述べさせていただきます。

- ① 利用者と接し自らが利用者の目線で図書館を見る、知る
- ② 縦（大学の中の人）と横（他館の図書館員）がつながる、つなげる
- ③ 己（所属館）を知り、相手（他の図書館と利用者）を知れば百戦危うからず

勤務している図書館にだけに閉じ籠っているのではなく、利用者と語らい、外に出て素敵な図書館を知ってもらい見てもらい素敵なライブラリアンに会い自らの「気づき」を誘発させ、勤務館の改善に結びつけてほしいということです。

職場の自席のパソコンの壁紙には、2013年10月に開催された100名を超える参加者があった「図書館総合展大交流会」の際に撮影した記念写

大学図書館100連発

— フツアの大学図書館でもできる「小さな工夫」「良い事例」を学びあう

アカデミック・リソース・ガイド株式会社代表取締役

岡本 真

はじめに

私の会社では、図書館をつくることを仕事の一つとしている。富山市立図書館や、沖縄県の恩納村の図書館など公共図書館の仕事が多いが、学問を生かす社会にしたいという信念から、公共図書館をつくる際も、大学または大学図書館との連携を意識するようにしている。

図書館をつくる仕事をしていると、日本中に行くことになる。大体、年間約12万km、月平均約1万km移動し、時間がある限り大学図書館を含むさまざまな公共施設を見学している。そこで、図書館の方にどのようなことをやっているのか、特に運営で頑張っていることは何かをヒアリングする。あるいは、実はご本人たちは気付いていないけれども、良い取り組みをしているということ、を、実際に目で見て、手で触って確かめている。これを意識し記録するようになったのはこの3、4年で、およそ1,000施設を訪れている。

1. 図書館100連発とは

その中で始めたのが、この「図書館100連発」である。ちょっとした工夫は、実はみなさん日々たくさんしている。見る人によっては、既にやっているものもあるかもしれない。それはそれで構わない。人によっては「これはすごくいい。うちでもやってみよう」となるかもしれない。あるいは、これをもうひとひねりしたらもっとよくなると思い、さらに発展させることもできる。私はそういう機会をつくり、世の中に広く知らせたいと思った。

2012年に『ライブラリー・リソース・ガイド』という雑誌を出すようになり、この雑誌の目玉コンテンツとして、訪れた図書館で発見した小さな

事例を定期的に紹介するようにした。今まで4回掲載し、400事例を紹介している。100事例紹介するのに、300事例ぐらい検討をしているので、内部的には1,000事例以上、小さな取り組みが蓄積されていることになる。良いと思う工夫は、利用者の目線に立った工夫であり、それが業務の改善につながっている。

2. 大学図書館18連発

最初に、過去の『ライブラリー・リソース・ガイド』で紹介した400事例の中から、大学図書館の18事例を紹介する。

1) 学生の手によるレファレンスPOP作成

— 京都女子大学・京都女子大学短期大学部図書館



学生が使わないレファレンス資料をPOP風に紹介する取り組みである。学生たちと協働してレファレンスブックを研究し、興味を持ってもらえるようなPOPを作る。レファレンスツールに対して興味を示さない学生を引き付ける企画展示である。これは一般学生に訴求するだけでなく、学生協働に関心を持っている学生にとっても、図書館を運用する力や、自分自身が図書館を使いこなす

力を育むことになり、意味のある取り組みである。

2) 携帯使用者のための電話ボックスを設置 ー長崎大学附属中央図書館



図書館内での携帯電話の通話というのはなかなか難しい。一般的には閲覧室の外に出る、厳しい図書館では館外に出なくては使えないという場合もある。例えば、教授に「こういう本を探してきてくれ」と頼まれたが書架に見当たらない。先生に電話しもう一回確認したい。そういう場合もあるわけで、館内での携帯電話不使用というのはマナーであると思うが、あまりそれを押し付けすぎるのはどうかと思う。

長崎大学では閲覧室の外に電話ボックスを配置し、携帯で電話する必要がある場合は、電話ボックスを使用してもらっている。このような取り組みは多くあり、明治大学の和泉図書館では、最初から設備として組み込まれている。

3) 図書館に向かう開放空間で講座を実施 ー同志社大学ラーネット記念図書館



同志社大学ラーネット記念図書館では、多くの情報演習の講座を開催している。私も「ググれば（Google で検索）良いと思っている学生たちを論理的に納得させる方法を教えてほしい」と相談を受け、検索エンジンがどういう仕組みでできていて、ググっただけだとどれぐらいの情報を取りこぼす可能性があるかということをごここで教えている。田辺キャンパスのラーネット記念図書館は2階から上が図書館で、1階は学生たちがキャンパスを通り抜けるための通路となっている。この通路横にある普段は誰でも自由に利用できるPCコーナーを図書館の講座用の会場としている。そうすると、通り抜けていく学生たちが何をやっているのかと思い、足を止める。そして、足を止めた学生に職員が「今からでも間に合うから、受けていかない」と言ってキャッチセールスをする。そして、学生たちを着座させ講座を受けさせる。これは私もやってみて非常に面白かった。常に立ち見があり、その人たちが講座に入ってくるかもしれないという緊張感があるのは、教える側にとっても良い教育効果をもたらすと強く感じた。

4) 図書館をよくするアイデアを学生に募る ー名古屋大学附属中央図書館



名古屋大学では、自分たちの図書館をどうしたらよくできるかというアイデアを学生から募った。これは何年も前の事例であるが、当時少なくとも今ほど学生協働などと言われていない中で、この仕掛けは非常に良いと思う。実際に、このアイデアコンテストのプレゼンは図書館内で行われ、そのポスターのデザインも良かった。その中から良いアイデアが出され、今のラーニングコメンズの整備にもつながったと聞いている。

5) 大学出版会の出版物をまとめて展示 －九州大学附属図書館中央図書館



九州大学附属図書館では、大学が持っている出版会「九州大学出版会」の出版物コーナーをつくっている。自大学の先生方の研究成果であるので、それをまとめて図書館に展示するというのは、良い取り組みだと思う。

最近、この方面で頑張っているのは東京外国語大学で、東京外国語大学の図書館と出版会のコラボレーションは大変素晴らしい。これは単に大学内のコラボレーションというだけではなく、時として対立し得る出版社と図書館という2つの軸が、うまくコラボレーションできている。

6) 試験対策本・論文資料の再利用 －小樽商科大学附属図書館



これは4年前の事例で、今ではもう新しくないかもしれないが、この時点では国立大学で試験対策本を図書館内に置くという例は少なかった。小樽商科大学では、図書館資料としてではなく、卒業生から使用した資料を譲り受け、それをコーナーに配架して学生たちの就職試験を応援している。大学図書館が就職活動に対して、そこまで取り組むようになったのはかなり近年の傾向である。

7) うちわ貸出でのホスピタリティも演出 －九州大学附属図書館中央図書館



九州の夏は暑く建物も古い上、国立大学なので温度設定にも制限があり、さらに飛行機の音で窓も開けられない。取材に行ったのは震災直後だったため節電問題もあり、うちわの貸し出しを行っていた。これは良い切り口ではないか。うちわというのは、まだ工夫のしがいがあるメディアだと思う。

8) 「ただいま発注中」を書評付きで紹介 －熊本学園大学附属図書館



新聞書評で紹介された本を案内するコーナーを作り、さらにこの本は、今発注しているということがわかるように知らせている。まだ所蔵されていない本であるが、今後所蔵する予定があるので、ぜひ皆さん読んでくださいという呼び掛けになっている。

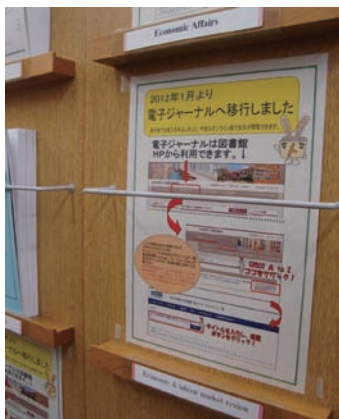
「新聞書評でこういう本が紹介されました」と紹介するだけなのか、「その本はこの大学の蔵書になるので、あなたたちも読むことができます」と伝えるのかは、私はコミュニケーションとしてはかなり大きな差があると思う。少しでも学生たちに本を読んでもらいたいという図書館側の気持ちが伝わってくる取り組みである。

9) ちょっとうれしい、滑らぬ先の「傘かけ」 ー獨協大学図書館



公共図書館で、よく行われている事例である。公共図書館では、同じようなもので杖立てというのがある。カウンターで貸出手続などをする際に傘を立て掛けられるフックみたいなものが付けられていることもある。これは、滑らない布を張りテープで留め、「カサ」とテプラで貼るだけなので、製作費用はあまりかからない。本当に、これはちょっとした良い取り組みである。

10) デジタルとアナログをつなぐ本棚 ー熊本学園大学付属図書館



図書館には、バックナンバーを後ろに入れるタイプの雑誌架があり、今、多くの図書館がこの取り扱いに苦慮している。公共図書館では雑誌の休廃刊が多く、そうするとバックナンバーごと雑誌を移動しなければならない。大学図書館の場合は電子ジャーナルに移行し、紙版を中止することが着実に増えている。その中で、この熊本学園大学では、電子ジャーナルに移行した雑誌について、

電子ジャーナルに移行しました、OPACのこの部分からここをクリックすればそれが見られますという案内をしている。これは小さな工夫であるが、電子ジャーナルに移行するという大学側として判断をした中で、電子ジャーナルを使ってもらわないといけないのと、デジタルのオンライン資料に学生たちの行動を誘導するという意味があり、心理学的なアプローチとしても優れた取り組みではないかと思う。

11) 青空文庫の表紙コンテスト ー仁愛女子短期大学附属図書館



福井県にある仁愛女子短期大学附属図書館では、学生に主に文学の読書を勧めることを目的として、青空文庫の表紙コンテストを行っている。青空文庫はインターネット上の電子図書館で、著作権が切れた夏目漱石や森鴎外といった近現代の巨匠たちの作品が電子化されていて、印刷し製本することも可能である。これは一部の学生に対しては読書促進効果があったと伺っている。

12) 新入生向け富山ビギナー講座 ー富山大学附属図書館



毎年4月に、図書館が新入生向け富山ビギナー講座というのをやっている。富山大学のメインキャンパスがある地域は、多く雪が積もるわけではないが、それなりに寒いので、水道管が凍ることがある。実際、富山大学では東海圏の太平洋側から入学してきた学生たちが、大体1年目にそういうトラブルを起こすので、富山で暮らしていくために必要な知識を図書館が教えている。

それは学生課の仕事ではと言われるかもしれないが、私はこれは非常に賢い取り組みだと思う。新入生にとって、初めて来た土地の分からないことを図書館が教えてくれたら、教えられた学生は分からないことがあったら次も図書館に行って聞こうと思う。図書館としたら、むしろこれこそ顧客の獲得機会であり、ここを押さえておけば、その学生たちにとって図書館は頼れる存在になる。

13) CiNii 停止時に、ほかの検索サービスを案内 －神戸大学附属図書館



5年前の震災から数日後、CiNii が止まるというニュースが、全国の大学図書館に流れた。NII の CiNii のサーバーが設置してある場所が、計画停電となったためである。Twitter では学生たちが「レポート提出前なのに CiNii が使えない」とつぶやき、CiNii がこれだけ依存されるサービスになったと喜ばしくもあった。この時、神戸大学では CiNii の代替となるサービス一覧をウェブ上で公開した。CiNii が使えなくても、個々の機関リポジトリは使える、あの時点では確か J-STAGE は利用できた。各学協会が個別に提供している論文閲覧サービスなども使えるものがあった。つまり、CiNii がカバーしている 800 万件の全データには対応策はないが、CiNii に集約される前の元のサー

ビスを伝えて、学生たちへの混乱、被害を最小限にとどめようとしたのである。

これは非常に良い取り組みで、ぜひ皆さんも一度シミュレーションをしてみるとよい。CiNii だけでなく、その他海外のオンラインデータベース、オンラインジャーナルサイトが止まったらどうするのかということを考えておくことが、これからの時代、必要になってくるのではないかな。

14) カタログでの選書会 －東北大学附属図書館北青葉山分館



選書ツアーが大学図書館でよく行われているが、東北大学では、各種カタログなどを使って学生選書会を行っている。出版社のカタログとか、それ以外にも各分野の基本書をまとめた年鑑などがあり、それらを使っている。比較的高度な専門書になってくると、学生選書ツアーは決して有効ではない。何といっても、そういう専門書を品揃えしている書店がない。これは非常に賢いやり方だと感心する。学生選書ツアーは、比較的初年次教育的な意味はあるかと思うが、専門教育的な観点になったときには、機能するとは言えない。

15) 書庫内での避難指示を床に －愛媛大学図書館



愛媛大学図書館は建物を改造して使っていて、書庫内の構造もとても複雑になっている。愛媛は過去に何度も地震が起きていることから、ぐらっときたら安全地帯に避難してくださいと呼びかけるポスターを書庫に貼っている。写真のように安全地帯は、テープで囲い「安全地帯」と明示している。つまり、この書庫の間にいたら危ない、大規模に倒壊する恐れがある。実際、東日本大震災の時、筑波大学の体育・芸術の図書館では、天つなぎしていた書庫が大規模に倒壊した。書架の間というのは、万一の際に大変危険で、本当に一瞬の退避行動が命を分けることになる。これを分かりやすく示していて、本当に良い工夫だと思う。

16) 閲覧中の雑誌もフォロー －東北大学附属図書館



面陳している図書や雑誌が借りられた時、そこに何が置いてあったのか分からなくなる。そこで、東北大学では、雑誌を面陳で置いているところに、その雑誌の表紙をコピーした紙を貼り、ここに『レコード芸術』があって、1月号はこういう特集であるということが分かるようにしている。

17) 福袋の中身公開展示 －皇學館大学附属図書館



図書館福袋は、公共図書館でこの数年大ブレイクしている企画である。例えば、スポーツというテーマだとしたら、図書館員がスポーツに関する本を何冊か選び袋にいれ、利用者はその中身を見ずに借りていくというのが図書館福袋である。この図書館福袋という企画が残念だったのは、借りた人にしかその袋の中身が分からないことだった。せっかく何らかのテーマで図書館の人が選書した内容が、言ってみれば1人にしか行き渡らない。そこで、皇學館大学では福袋の中身がどんな内容だったのかを年明け早々に展示した。これは本当に企画した方に敬服した。掛けているコストからすると、果たしてベネフィット的にいいのかという問題があったが、福袋の中身をもう一回見せることで、1回の投資について2回のリターンを得るような仕組みにしている。借りた人以外にも、その図書館側のセレクト、選書が共有されるというわけである。

18) 公開書庫の本棚に POP －共立女子大学・共立女子短期大学図書館



共立女子大学では、閉架書庫を学生に開放していて、閉架書庫内にある本にも POP を付けている。例えば、写真の『舟を編む』という大変話題になった辞典編集者の本にも、レファレンス的な POP が作られ書架に貼られていた。閉架書庫に学生を入れるというのはスタンダードになりつつあり、こういう取り組みもあってよいかもしれない。特に閉架書庫は、基本的に学生たちは特定のある本だけを探しに行く場合が多いが、実は、開架の何倍もある閉架の中には思いもしないような本との出会いがあり、これは書庫内の本に興味を持たせる効果につながる。

3. 大学図書館 12 連発

ここまでが、過去に紹介したケースであるが、次にこの1年で新たに発掘した大学図書館の事例を紹介する。

1) 色での展示

－徳島大学附属図書館



公共図書館ではよくやられている取組みで、本の内容には関連性はなく、表紙の色だけで本を選んで展示し、学生に興味を持ってもらうという企画である。この時は、赤い本棚と青い本棚という特集をやっていた。これは、思った以上に学生たちの反響が良かったようである。大学図書館の場合、カバーを剥がしてしまうのが一般的なので、そうするとこのような取り組みを行うことができない。

2) 閑散期の見学者には写真掲示で現場を体感

－共立女子大学・共立女子短期大学図書館



学生の利用が少ない夏季休暇中に、共立女子大学を見学した。図書館では、事前に普段の学生の

様子を写真に撮り、見学コーナーの随所に貼りつけられていた。どうしても学生がいる時間帯に見学に行けない。あるいは、学生が使っている時間帯だと、見学はむしろご遠慮いただきたい、あくまで学生を優先したいという考えの大学もあるので、写真を掲示することで日常の雰囲気を伝えようというのは、非常に賢いやり方だと思う。

3) 雑誌の刊行頻度を棚で明示

－皇學館大学附属図書館



皇學館大学では、雑誌の刊行頻度をわかりやすく案内していた。普通、大学1年生では雑誌の刊行頻度というのは全く意識しない。年2回とか、隔月とか、そんな刊行サイクルがあるということを普通は理解していない。その中で、この雑誌はこういうタイミングでアップデートされるという表示をつけるのは親切であり、かつ実用性がある。

4) 貸出 OK/NG を併記して明示

－千葉大学附属図書館



千葉大学のアカデミック・リンク・センターで

は、リザーブブックについて、貸出OKの本と貸出NG館内利用だけという本を、かなり明示的に帯で表示するというをしている。これも非常に賢いやり方である。

5) 県立図書館との連携協力で蔵書補充 －鳥取大学附属図書館



県立図書館との連携を一つ紹介する。日本で公共図書館と大学図書館の連携で、最も取り組みが進んでいるのは鳥取である。鳥取大学と鳥取県立図書館の取り組みは、私も10年以上前に相互の配送の仕組みなどについて発表を伺ったことがあるが、以来、大変注目している。

例えば、鳥取大学に鳥取県立図書館から借りている蔵書の書架があり、鳥取大学には、鳥取市立図書館の移動図書館も回ってくる、地域の図書館と非常にうまく連携している。大学ではもはや一般教養書を買う予算はなく、鳥取県立図書館が代わりに買い、それを大学に貸している。これはおそらく、今後、大学図書館にとって非常に重要なやり方になる。

どうして公共図書館がそこまでするのか。鳥取県立図書館からすると、鳥取大学出身の卒業生はほとんど鳥取で働き、中には県庁で働く人もいる。県内の有力企業で働く人もいる。そういう地域の重要なプレーヤーになっていく人たちを育てている大学に対して、鳥取県立図書館というのを刷り込んでおくことは、中長期的に見て極めて意味がある。

ちなみに鳥取県立図書館は人口が少ない県であるが、日本でも有数の資料費を持っている。だか

ら、そういうことができる体制をつくってきたわけである。みなさんも、この東海地域の県立図書館と連携していくことが重要ではないか。三重県立図書館もかなり突出した活動をされている一館で、大学に対する協力に関しても熱心に取り組んでいる。そういった関係を模索するというのが、これからの大学図書館にとって必要である。

6) 閲覧中もわかりやすい雑誌架表示 －岡山大学附属図書館



さきほどの雑誌の例と同じであるが、『LISN』はキハラの機関誌で、本誌を取った後に、こういうダミーが付いていることにより、どういう雑誌がここにあるのかが分かりやすくなっている。大学図書館ではあまりこういう取り組みをしていなかったが、公共図書館で取り組まれているものが緩やかに大学図書館に入ってきていると感じる。

7) 借りられても伝わる展示 －立命館大学 OIC ライブラリー



最近、訪れた立命館大学の OIC ライブラリー（大阪いばらきキャンパス）である。これは、いわゆる学生協働で、学生さんが本を選び、おすすめ

の文章を付けて本を紹介するコーナーで、この本を利用者が手に取ってしまった後、そこにどのような本が置かれていたかが分かるよう展示の工夫がされていた。

8) 書架の中にある閲覧席

－立命館大学平井嘉一郎記念図書館



書架の間にこのような棚を作ると非常に便利である。レファレンスブック、美術書など動かすだけで重い本があるところに作ると便利で、このようなコーナーが随所に設けられていた。

9) 時代に合わせた薄い雑誌架

－立命館大学平井嘉一郎記念図書館



雑誌架は、非常に薄く基本ほぼ透明で、従来の雑誌架が持っていた圧迫感がない。遠目に見ると雑誌が宙に浮いているようで、すごくきれいに面陳されている。バックナンバーは別置なので、その分のスペースをとらないのも良い。これはなかなか良い発想だと思う。

10) 貢献者を記して顕彰

－立命館大学平井嘉一郎記念図書館



この平井嘉一郎記念図書館で非常に感心したのが、この新図書館を建てるプロジェクトに関わった人たちの名前が掲げられていたことである。例えば、設計会社の主任設計者の名前、図書館の人たちも含めてである。そのプロジェクトに関わった方々のクレジットをきちんと刻むというのは、非常に重要なことであり、私は非常に好感をもった。

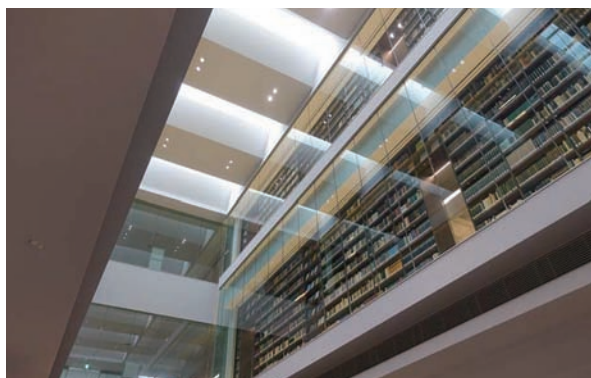
11) 驚異の自動貸出機能付図書館ゲート

－立命館大学平井嘉一郎記念図書館



これは、学生証と本を持っていれば、そのままゲートを通すだけで貸出処理ができる「カシダスゲート」である。本にICタグが貼ってあり、非接触式の学生証があれば、ゲートを通った瞬間に学生証と書籍データを読み取り、未返却本がなければ貸出処理ができてしまう。これは、かなり斬新であるが、おそらくこれから飛躍的に広まってくる仕組みになるのではないかな。

12) ぎりぎりの工夫での見せる棚 －立命館大学平井嘉一郎記念図書館



これは1階から見た2階部分である。おしゃれな吹き抜け構造から、格好よく本を見せている。基本的には、車椅子の通過を考えなくてはいいないので、このガラス部分と書架の間にできれば150cmの幅をとる必要があるが、ここはとれていない。ここで、もしそれだけの幅を取ると、本棚が後ろに下がり、1階から見たときに、本棚がおしゃれに見えなくなる。これは、ユニバーサルアクセスという観点からは好ましくないが、運用の妙だと思ったのが、ここにある本はあまり貸し出されない本で、それを逆にきれいに見せている。こうやって面で見せるというのは、非常に賢い取り組みだと思う。

立命館大学は、新館建設というタイミングで行っているが、こういう見せ方の工夫そのものは無料でできるし、この発想ができたのは、立命館の図書館の方々が、自分たちの大学にあるコレクションの価値をよく分かっているからできたことではないかと思う。

4. 公共図書館3連発

最後に3つほど公共図書館の取り組みを紹介する。大学図書館と公共図書館、それぞれで仕事をしていると、同じ図書館といっても全く別のものだということを感じる。大学図書館で一般利用を受け付けているところもあるが、公共図書館は誰でも来館する、そして、公共図書館においては原則的に利用を制限できない。このため、本当にさまざまな利用者を想定した工夫がよくされている。

1) 作家のプロフィールを見せる差込表示板 －松川村図書館（長野県）



公共図書館の場合、蔵書の半分ぐらいは、文学資料である。基本、作家別に配架するケースが多く、このような作家名の差し込み表示板を入れるのが一般的である。一般には名前だけの表示板が多いが、ここでは、顔写真、名前、振り仮名、基礎プロフィールまで添えられていた。他の図書館でもこういう工夫がされていて、これは、文学に親しんでもらうという意味で非常に良い。

これは大学図書館でも学べるところがあり、例えば、先生方の著作一覧を置くとときに、先生方の顔写真が付いているだけでもちょっと違うのではないかと思う。

2) 学習席に図書館からのお知らせのギミック －筑西市立中央図書館（茨城県）



これを考えた人は天才だと思う。大学図書館で言うキャレルのようなデスクのところに「ご自由にお取りください」と、こういう折り込まれた紙が置いてあった。気になるので、私も実際に手に

取ってみて開いてみたら、手紙の書き方講座というイベント告知だった。普通に貼ってあるだけでは読まないが、あえてこういうギミックを掛けてあることにより、つい開いてしまう。そして、さらに手が込んでいるのが、折り方が複雑なので、いらないと思っても元に戻せない。だから、捨てるわけにもいかないのが、仕方なくこれを持ち帰ってしまう。人間の心理をとことん考えた素晴らしい作戦だと思う。

3) オープンデーイベントに図書館らしい協力 － 京都府立図書館



京都府立図書館では、ウィキペディアにおいて出典が不明である記事について、出典を明確にするような執筆活動をしようというワークショップを行っている。これは、公共図書館を中心に行われている。なぜ、図書館でそういうことをやるかという、図書館こそ出典を探すのに最適だからである。例えば、ウィキペディアに書かれている地域に関する記述に出典の詳細が不明なのは、大概、公共図書館なら地域資料コーナーに行けば答えが見つかる。つまり、図書館で普段使われることが少ない地域資料を司書が引っ張ってきてみんなで読み、これはこういう記述にしたらい、出典はこういうふうに表記しようとする。ことにより、ウィキペディアの記述が豊かになる。

公共図書館からすると非常に意味があり、京都府立図書館が所蔵している資料がウィキペディア

上の記述に増えていくと、ググったときに京都府立図書館という名前がどんどん出てくるようになる。それは、今の時代の PR 戦略としては正しく、賢いやり方である。ぜひ、大学図書館でも地域資料を持っているところは、地域貢献という観点からも取り組んでみてはどうか。

おわりに

再び図書館 100 連発とは？－可能性と課題と

ご紹介した取り組みから何を考えていただきたいかという、一つは小さな取り組みの大切さである。「神は細部に宿る」という言葉があるように、私も、自分たちが仕事をする上で、コンサルティングという仕事だからこそ非常に意識し、若いスタッフにも小さなことをとにかく大切にすることを教える。同時に、小さな努力をきちんと積み重ねることが、大きなものをつくっていく上では欠かせない。

そういう意味で、この図書館 100 連発のような取り組みをぜひ皆さんの図書館でも考えていただきたい。よその図書館でやっている良い取り組みがあれば、それを取り入れていく。あるいは、図書館だけでなく、普段行くお店で「おっ」と思った仕掛けがあれば、そういうものを取り入れるということをぜひ積み上げていってほしい。

最初から全て完璧な 100% 理想的な図書館をつくるということは、普通はできない。特に、大規模な建て替えのようなことがなければ難しい。しかし、そういう中で、私たちが日々の活動の中でできることは、実は小さなことの積み重ねである。小さなものをとにかく 100 個なら 100 個、1,000 個なら 1,000 個、1 万なら 1 万集めれば、それは、その図書館全体をより良いものにつなげる。

実際に、そういう図書館は少なからずある。例えば、毎年行われている「Library of the Year」という賞がある。これを受賞する図書館は、必ずしも新しく格好いい図書館ばかりではない。昨年の大賞は多治見市図書館である。多治見市図書館は、設置からいくらか年数がたっているが、積み上げてきたものが、ある臨界点に達したときに大

きく花開いたからこそ、ここに来て評価された。館長と話していたら、Library of the Year 効果で、多くの人たちが来ていると言われていた。もし今、働いているところで、大きな改革とか大きな何かはできないと思い、行き詰まりを感じたら、ぜひ小さいことをやってほしい。小さいことを1個でも積み上げていく。

その中でぜひお勧めしたいのは、図書館の種類、館種の壁を越えようということである。大学図書館の方からしたら、公共図書館に行ったら絶対学びになる。なぜなら、公共図書館の方が、皆さんよりも幅広い利用者を対象にしているからである。でも、逆に公共図書館の人からしたら、大学図書館から学ぶことも多いはずである。あるいは専門図書館でもいい、学校図書館でもいい、あるいは、まちライブラリーの活動でもいい。もっと言えば、飲食店でもいいわけである。そういったところに行って、違いを越えた学び合いをし、良い取り組みがあれば、ぜひ取り入れて欲しい。

ただ、一つだけ言っておきたいのが「小さなことだけやっていけばいい」という方向に逃げ込まないで欲しい。特に大学図書館は、大学にとってどういう存在なのか、必要なのか、もし設置基準がさらに大幅に大綱化されて、図書館を設置しなくていいとなったらどうなるのかということを考えなければいけない。

さらに、大学図書館はこの世界において本当に有効なのか。これだけオンラインジャーナル化されていて、eサイエンスというような動向が出てくる中で、本当に有効なのか、どう向き合うかという大きな問いから逃げても駄目である。だから、毎日小さな工夫をコツコツやっているからそれでOKでは決していない。

これは公共図書館と大学図書館では若干違って、公共図書館は簡単に潰れることがないという存在であるのに対して、大学図書館はその存在基盤の法的位置付けが、現時点においては極めて弱い状態である。大学図書館とはどういう役割を果たすかということを考えなくてはいけない。それを論じつつ、時には大きな変貌を遂げるような改革をしなくてはいけないのである。だから、そ

こはぜひ、小さな「神は細部に宿る」という努力をしながら、大きな物語について考えるということが必ず必要である。

そういう意味で、使い古された言い方であるが、「Think Globally, Act Locally」という言葉、大きく考えながら小さな実践を積み上げていくということが、今の大学図書館で働く皆さんにとって一番重要なことではないかと思う。ぜひ小さな努力をたくさん積み重ね、そして、そのいい努力があれば、ぜひみんなでこういう場で共有する。そうすることで、全体的に底上げされていく。「大学ってやっぱりいいな」「大学図書館って素晴らしい存在だな」という社会の認識が広がっていくように努めながら、同時に、大学ないしは大学図書館の新たな役割をもう一回定義し直す。そして、それを社会に対してきちんと働き掛けていくということが重要ではないかと思う。

行 事

第 70 回（2016 年度）東海地区大学図書館協議会 総会・研究集会

【総会の部】

日 時：平成 28 年 8 月 5 日（金） 10:30 ～ 11:50

会 場：名古屋学院大学 クラインホール

総会当番館：名古屋学院大学学術情報センター

出 席 者：51 館 89 名

図 書 館 名		職 名
☐ ☒ 岐阜県 ☒ ☐		
1	岐阜大学図書館	情報部 学術情報課長
		情報部 学術情報課長補佐
2	岐阜医療科学大学図書館	司書
3	岐阜市立女子短期大学附属図書館	司書
4	情報科学芸術大学院大学附属図書館	主査（司書）
5	中部学院大学附属図書館	司書
☐ ☒ 静岡県 ☒ ☐		
6	静岡大学附属図書館	利用サービス係長
7	静岡県立大学附属図書館	事務長
8	静岡産業大学図書館	パート事務職員
		パート事務職員
9	東海大学付属図書館清水図書館	係長
10	浜松医科大学附属図書館	学術情報課長
☐ ☒ 愛知県 ☒ ☐		
11	愛知大学図書館	係 長
12	愛知学院大学図書館情報センター	館長
		次長
13	愛知学泉大学図書館	司書
14	愛知教育大学附属図書館	附属図書館長
		情報図書課長
		総務・受入担当係長
15	愛知県立大学学術研究情報センター図書館	課長
		契約職員
16	愛知県立芸術大学芸術情報センター図書館	芸術情報課長
		図書情報係長
		契約職員

図 書 館 名		職 名
17	愛知工業大学附属図書館	課 長
		委託スタッフ
18	愛知淑徳大学図書館	司書
19	愛知東邦大学学術情報センター	学術情報課 課長補佐
20	愛知文教大学附属図書館	司書
21	桜花学園大学図書館	図書課員
22	金城学院大学図書館	課長
		課員
23	至学館大学附属図書館	情報センター室・室長
24	椋山女学園大学図書館	課長
25	中京大学図書館	部長
		課長
26	中部大学附属三浦記念図書館	担当課長
27	同朋学園大学部附属図書館	嘱託職員
28	東海学園大学図書館	課長代理
29	豊田工業高等専門学校図書館	図書館長
30	豊橋技術科学大学附属図書館	事務局次長
		教務課副課長
		教務課 情報管理係 主任
		教務課 情報管理係 主任
31	名古屋大学附属図書館	附属図書館長
		事務部長
		情報管理課 課長
		情報管理課 課長補佐
		情報システム課雑誌係 契約職員
32	名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館	図書館長
		課長
		専門職員
33	名古屋経済大学・名古屋経済大学短期大学部図書館	主査
34	名古屋芸術大学附属図書館	館長
		室長
		委託スタッフ
35	名古屋工業大学附属図書館	課長
		事務補佐員
36	名古屋女子大学学術情報センター	センター長補佐
		主事

図 書 館 名		職 名
37	名古屋市立大学総合情報センター	主査
38	名古屋造形大学図書館	課長
39	名古屋文理大学図書情報センター	係長
		係長
40	名古屋柳城短期大学図書館	係長
41	南山大学図書館	図書館事務課長
42	日本赤十字豊田看護大学図書館	司書
43	日本福祉大学付属図書館	事務職員
44	人間環境大学附属図書館	司書
45	藤田学園医学・保健衛生学図書館	図書館事務室課長
		司書主任
46	名城大学附属図書館	課長
		一般事務職員
		閲覧業務担当
☐☒ 三重県 ☒☐		
47	皇學館大学附属図書館	嘱託職員
48	三重大学附属図書館	附属図書館長
		学術情報部 情報図書館課長
49	三重県立看護大学附属図書館	司書
50	津市立三重短期大学附属図書館	図書担当副主幹・司書
☐☒ 当番館 ☒☐		
51	名古屋学院大学 学術情報センター	学術情報センター長
		課長
		職員
		職員
		職員
		契約職員
		契約職員
		契約職員
		契約職員
		派遣職員

総 会 議 事 要 録

I 開会

II 挨拶

名古屋学院大学学長 木船 久雄
東海地区大学図書館協議会長 森 仁志

III 議長選出

名古屋学院大学学術情報センター長
三井 哲

IV 報告事項

1 国公立の各大学図書館の活動状況、当面の課題等について

国公立の各協議会の理事校・幹事校（名古屋大学、愛知県立大学、名古屋学院大学）から報告があった。

2 その他

名古屋工業大学から、平成 28 年度東海北陸地区国立大学図書館協会研修会（第 2 回）の案内があった。

V 協議事項

1 平成 27 年度事業報告（案）について

事務局から、平成 27 年度の事業について次のとおり報告があった。

(1) 第 69 回（2015 年度）総会

日時：平成 27 年 8 月 21 日（金）
会場：愛知県立大学文化交流センター
多目的ホール
総会当番館：愛知県立大学
(41 大学 77 名参加)

1) 報告事項

平成 26 年度事業報告、平成 26 年度決算報告・同監査報告、国公立の各大学図書館の活動状況、当面の課題等について（名古屋大学、愛知県立大学、名古屋学院大学）

2) 協議事項

退会館について、東海地区大学図書館協議

会 会費と協議会誌の在り方について、「図書館 職員基礎研修」実施に関する分担金について、平成 27 年度事業計画（案）及び予算（案）について、平成 28 年度総会当番館について、永年勤続者表彰（8 名）

(2) 研究集会

日時：平成 27 年 8 月 21 日（金）
テーマ：「電子ジャーナル・データベースの購入」

講演：

「電子ジャーナル・データベース購入の現状と課題」

大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）

事務局長 小陳左和子

事例報告：

「名古屋大学における電子ジャーナルパッケージ契約の見直しについて」

名古屋大学附属図書館情報システム課

松原 隆実

「静岡大学における電子リソース購入の見直しについて」

静岡大学学術情報部図書館情報課長

鈴木 雅子

(3) 研修会

1) 図書館職員基礎研修（第 5 回）

日時：平成 27 年 12 月 7 日（月）
会場：名古屋大学附属図書館
研修担当館：名古屋大学附属図書館
(29 大学・機関 48 名参加)

講義：

(1) 「最近の図書館の動向～素敵な図書館と素敵なライブラリアンとの出会い～」
愛知大学図書館 中村 直美

(2) 「情報リテラシー教育」
愛知県立大学学術研究情報センター
図書館 松森隆一郎

(3) 「ILL」
愛知工業大学図書館 加藤 直美

(4) 「電子資料（電子ジャーナル、データベース等）」
浜松医科大学附属図書館 吉岡 文

- (5) 「分類・目録」
名古屋大学附属図書館 小島 由香
- (6) グループ討議・発表
- 2) 第2回
日時：平成28年3月7日（月）
会場：名古屋外国語大学・名古屋学芸大学
図書館
研修担当館：名古屋外国語大学・名古屋学
芸大学図書館
(27大学・機関 52名参加)
テーマ：「伝わる声の出し方・話し方」
講演（実習含む）
声と話し方コンサルタント 赤間 裕子
- (4) 「東海地区大学図書館協議会誌」60号
平成27年12月25日（金）発行
- (5) 運営委員会等
- 1) 監事会（平成28年度、平成28年6月2日
（木）会場：名古屋大学）
監事館：岐阜薬科大学、中京大学
- 2) 機関誌編集委員会（平成28年度、平成28
年6月8日（水）電子メールによる審議）
- 3) 運営委員会（平成28年度、平成28年5月
9日（月）電子メールによる審議
6月14日（火）会場：名古屋大学
7月19日（火）電子メールによる審議）
- 2 平成27年度決算報告（案）について
事務局から、平成27年度の決算について報
告があり、続いて、監事館を代表して中京大学
から、監査の結果、経理は正確に処理されてい
ることを確認したとの報告があった。
平成27年度の決算報告について、報告のと
おり承認された。
- 3 東海地区大学図書館協議会の研修について
事務局から、東海地区大学図書館協議会の研
修について説明があり、提案どおり承認された。
- 4 平成28年度役員館について
事務局から、平成28年度役員館について説
明があり、提案どおり承認された。
- 5 平成28年度事業計画（案）および予算（案）
について
事務局から、平成28年度事業計画（案）お

よび予算（案）について説明があり、提案どお
り承認された。

6 平成29年図書館職員基礎研修分担金の徴収 について

事務局から、「図書館職員基礎研修」実施に
関する分担金について説明があり、提案どおり
承認された。

7 平成29年度総会当番館について

第71回（平成29年度）総会・研究集会の当
番館として豊橋技術科学大学が選出された。

Ⅵ 永年勤続者表彰

事務局から平成28年度永年勤続者7名の紹
介があった。

永年勤続表彰者：

松下 昭重 （静岡大学附属図書館）
越智 隆 （相山女学園大学図書館）
天野 由貴 （相山女学園大学図書館）
金子 由樹子（名古屋大学附属図書館）
高野 恵子 （名古屋大学附属図書館）
伊藤 支守花
（名古屋商科大学中央情報センター）
下口 ウェイン 正則
（名古屋商科大学中央情報センター）

Ⅶ 閉会

【研究集会】

日時：平成 28 年 8 月 5 日（金）13：10～16：30

会場：名古屋学院大学 名古屋キャンパス

白鳥学舎 クラインホール

テーマ：「大学図書館 100 連発：フツの大学図書館でもできる「小さな工夫」「良い事例」を学びあう」

◇講演：「図書館 100 連発：大学図書館でも明日からできる小さな工夫」

アカデミック・リソース・ガイド株式会社
代表取締役 岡本 真



<「大賞」発表>



<「よいアイデアで賞」発表>



◇ポスターセッション：22 大学 26 枚参加

表彰（参加者による投票）

・大賞 静岡大学附属図書館

「防災・広報の工夫」

・よいアイデアで賞

愛知教育大学附属図書館

「小さなことからコツコツと！」

<ポスターセッション風景>



平成 27 年度決算報告

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

科 目	予算額 a	決算額 b	過△不足額 b - a	備 考
収入の部	円	円	円	
1. 前年度繰越金	1,811,098	1,725,772	△ 85,326	予算として平成 26 年度繰越金を計上すべきところ、誤って平成 25 年度繰越金を計上したことによる修正
2. 会 費	705,500	705,500	0	平成 27 年度分：@8,500 × 83 館 = 705,500
3. 会 誌 売 上	52,000	77,000	25,000	59 号分：@2,000 × 1 部 = 2,000 60 号分：@2,500 × 30 部 = 75,000
4. 分 担 金	8,000	8,000	0	北陸 4 国立大学からの基礎研修分担金
5. 雑 収 入	320,000	394,400	74,400	基礎研修（第 5 回）昼食交流会費（48 名 + 名大 1 名） 29,400 協議会誌広告掲載料（60 号） 365,000 @30,000 × 1 社 = 30,000 @25,000 × 1 社 = 25,000 @20,000 × 12 社 = 240,000 @10,000 × 7 社 = 70,000
6. 預 金 利 息	200	300	100	
計	2,896,798	2,910,972	14,174	

* 前年度繰越金を除く平成 27 年度の収入額 1,185,200 円

科 目	予算額 c	決算額 d	過△不足額 c - d	備 考
支出の部	円	円	円	
1. 総 会 補 助 金	100,000	100,000	0	第 69 回総会（愛知県立大学）
2. 研究集会補助金	20,000	10,000	10,000	報告者原稿料（1 名）（加盟館事例報告）
3. 研 修 会 費	350,000	160,602	189,398	基礎研修（第 5 回）及び研修会講師謝金等、会場館補助金
4. 源泉所得税納付	35,000	13,100	21,900	研究集会、研修会での講演料、原稿料等に対して
5. 会 誌 刊 行 費	450,000	476,064	△ 26,064	60 号 190 部
6. 役 員 会 経 費	10,000	7,516	2,484	運営委員会、監事会
7. 事 務 費	50,000	35,725	14,275	テープ起こし、振込手数料等
8. 通 信 費	40,000	33,070	6,930	会誌送付等郵便料金
9. 表 彰 記 念 費	50,000	46,482	3,518	表彰記念品（ネーム印付きボールペン 8 本、表彰状ファイル）
10. 予 備 費	1,791,798	0	1,791,798	
11. 次年度繰越金	0	2,028,413	△ 2,028,413	
計	2,896,798	2,910,972	△ 14,174	

* 次年度繰越金を除く平成 27 年度の支出額 882,559 円

平成 28 年 3 月 31 日締め

預金残高 2,019,744 円

現金残高 8,669 円

資産総額 2,028,413 円

会計監査 平成 28 年 6 月 2 日

岐阜薬科大学

中京大学

監査済み

平成 28 年度予算

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

科 目	前年度 決算額 a	本年度 予算額 b	前年度決算額 よりの増△減 b - a	備 考
収入の部	円	円	円	
1. 前年度繰越金	1,725,772	2,028,413	302,641	
2. 会 費	705,500	705,500	0	平成 28 年度分：@8,500 × 83 館 = 705,500
3. 会誌売上費	77,000	74,500	△ 2,500	61 号分：@2,500 × 29 部 = 74,500
4. 分 担 金	8,000	0	△ 8,000	基礎研修開催年度に限り北陸地区国立大 学から徴収
5. 雑 収 入	394,400	335,000	△ 59,400	協議会誌広告掲載料 61 号分等
6. 預 金 利 息	300	10	△ 290	金利の低下
計	2,910,972	3,143,423	232,451	

* 前年度繰越金を除く本年度の収入額 1,115,010 円

科 目	前年度 決算額 c	本年度 予算額 d	前年度決算額 よりの増△減 d - c	備 考
支出の部	円	円	円	
1. 総会補助金	100,000	100,000	0	第 70 回総会（名古屋学院大学）
2. 研究集会費	11,021	100,000	88,979	講師（1 名）（加盟館外）謝金等
3. 研 修 会 費	172,681	300,000	127,319	当番館経費（名古屋大学、名古屋工業大 学）、講師謝金等（2 回分）
4. 会誌刊行費	476,064	480,000	3,936	61 号 190 部
5. 役員会経費	7,516	5,000	△ 2,516	運営委員会、監事会
6. 事 務 費	35,725	50,000	14,275	事務用品等
7. 通 信 費	33,070	40,000	6,930	会誌送付等郵便料金
8. 表 彰 記 念 費	46,482	45,000	△ 1,482	永年勤続表彰者 7 名の記念品（ネーム印 付きボールペン）等
9. 予 備 費	0	2,023,423	2,023,423	
10. 次年度繰越金	2,028,413	0	△ 2,028,413	
計	2,910,972	3,143,423	232,451	

* 予備費を除く本年度の支出額 1,120,000 円

注：昨年度までの「源泉所得税納付」は、2「研究集会費」、3「研修会」にそれぞれ含めた。

東海学園大学図書館名古屋キャンパス

〒468-8514 愛知県名古屋市天白区中平 2-901

<https://www.tokaigakuen-u.ac.jp/lib/>

東海学園大学は天白区にある名古屋キャンパスとみよし市にある三好キャンパスの二つからなっている。平成28年7月、その名古屋キャンパスに新たな図書館が完成した。

名古屋キャンパスの旧図書館は1963年に建てられた校舎を、1975年より図書館として使用してきたのだが、築年数の古さに加え元々図書館として建てられた建物ではなかったため、構造面や耐震性に問題があり今回の改築に至った。

新館は地下1階・地上3階だが、地下は自動書庫となっている。工事は旧館の隣に第1期工事として建物の半分を建て、資料等をすべて移動したのち旧館を取り壊し、そこに第2期工事として残りを建て、最後に第1期と第2期の境の壁を壊してひと続きにする、という2段階の工事だったため、着工から完成までに2年半という長い期間を要した。第2期工事の間の約1年半は第1期部分のみで運営していたため、ほとんどの資料を地下の自動書庫に収めていた。不便なことも多かったが、その間に教員からの指摘を受けたり学生の利用の様子を見ていたりして、配架や家具等、第2期工事側に生かすことができた。

新館は明るく開放的であることを第一に目指し、あまり部屋を区切らずフロアが見渡せるようにした。また、その上でゾーニングを考え床や家具の色を設定した。壁や天井は各階とも白で統一しているが、床や家具は階ごとにイメージを変えて色分けをしている。基本的には階を上るにつれ静かな場所になっていくという考えである。

1階

開放的な入口にするため、コンパクトな入退館ゲートを設置し、背の高い家具を置かず、入口か

ら見て正面の奥にある LEY HALL（ラーニングコモンズ）までを見通せるようにした。

2階

パソコンエリア、視聴覚エリアがある他、資料も文庫・新書や絵本、雑誌など手にとりやすいものが多く配架してあり、学生が気軽に利用できる階である。

3階

全体が静粛スペースとなっており、集中して勉強できるように、予約制の学習ブース以外ではノートパソコンも使用できないことになっている。

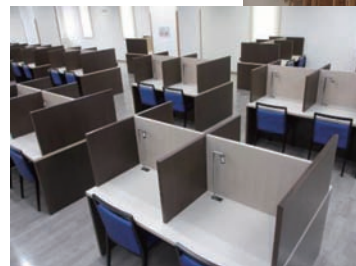
1階 入口からの眺め



2階
パソコンエリア



3階
キャレルデスク



今後は、これまで旧館にはなかったラーニングコモンズや展示スペースをいかに活用していくかが課題と考えている。運用していく中で利用者の意見も取り入れながら、より使いやすい図書館へと進化していきたい。

施設紹介

名古屋女子大学学術情報センター

〒467-8610 愛知県名古屋市瑞穂区汐路町 3-40

<http://lsic.nagoya-wu.ac.jp/>

2015 年 10 月、名古屋女子大学は天白キャンパスを移転、全学部を汐路キャンパスに統合し、汐路キャンパスに本館・分館を統合した学術情報センターを開設した。

統合された汐路キャンパスは、家政学部、文学部、大学院と短期大学部の約 3,000 名が学ぶ場となった。新図書館は、汐路キャンパスに新たに建設された図書館棟の 1、2 階部分に位置し、延べ床面積 3,159㎡、パソコン施設を含む総座席数 446 席、収容冊数 23 万冊の施設で、全学生の学びの拠点として、学生の学習する場としての機能を重視するとともに、本学構成学部・学科の学習ニーズやスタイルに応じた環境整備に配慮した施設となっている。

新図書館は、閲覧総座席数 446 席のうち個人席として 104 席を設け、旧図書館から利用者ニーズの高かった集中して学習できる利用環境を確保する一方、ディスカッションやグループ学習ができるグループ閲覧室を 2 室設けた。また、本学食物栄養学科、児童教育・保育学科で必須となる管理栄養士国家試験や教員採用試験用の学習個室を整備した。ここでは、自習のほか少人数の補習や講義など幅広い利用がされている。エントランスには個人学習のほかセミナーやイベントにも利用のできる可動式 50 席のラーニング・コモンズを設置し全学学生の交流の場としても活用できる空間となっている。

大きく 3 つのエリアに分かれた館内は、中央部分の展示エリアを挟み左右に閲覧エリアを擁している。館内は全体をブラウン系の落ち着いた色調で統一しながら、キャリア支援資料や、シラバス参考資料、学術雑誌、専門図書等、資料群をエリア別に配架し、一般資料エリア、専門資料エリア

を明るい色調からダークな色調に区分けすることで色によるゾーニングと空間としての雰囲気創りも配慮した。

学術情報センターは、図書館機能と情報サービスを統合した学生支援の役割を担っている。新図書館では、旧学舎で別棟に位置していたパソコン利用環境を館内に 60 席のパソコン自習室を設けることで図書資料、情報資源を一箇所で利用できる施設としたのも特徴である。このほか、館内で利用できるノートパソコン 50 台の貸し出しを行いラーニング・コモンズやグループ学習での利用に供している。

また、図書館新築にあたり、旧図書館で使用していた書架や家具は利用できる限りリフォームをして新図書館でも活用した。これには環境面への配慮のほか、学生へ図書館への愛着と施設を大切に使う意識醸成の想いも込めた。

新図書館では、資料を全面開架し閲覧の利便性を改善するとともに、学舎の統合により、ひとつのキャンパス、図書館となったことで、分散していた資料が一箇所で利用できる環境となった。今後は施設を活かした学習支援やサービスを更に進めていきたい。



図書館 1 階ラーニング・コモンズ

日本福祉大学付属図書館 東海分館

〒 477-0031 愛知県東海市大田町川南新田 229 番地

<https://library.n-fukushi.ac.jp/library/>

日本福祉大学は、平成 27 年 4 月、看護学部開設を機に、美浜キャンパス、半田キャンパス、名古屋キャンパスに次ぐ 4 つ目のキャンパスとなる東海キャンパスを東海市に新設した。学部構成は、看護学部と美浜キャンパスから移転した経済学部、国際福祉開発学部の 3 学部からなる。同時に付属図書館東海分館をキャンパス 2 階に新規オープンさせ、本学 4 館目の図書館として運用を開始した。

施設面では、キャンパス 2 階の東海分館からはガラス張りの吹き抜けを通して 1 階の大学生協の食堂を見下ろすことができ、開放的な学習空間を実現した。1フロア約 800㎡と小規模ながら閲覧座席数を約 200 席設置し、書架収容力は電動書架が約半数以上を占めているものの、合計約 55,000 冊が収容可能である。また、日本福祉大学付属図書館として初めて東海分館に IC カードによる入館管理システムを導入した。

利用面では、学生が快適に学習に専念できるよう、また気軽に雑誌などが読めるなど多様な使い方に対応するため、異なるタイプの個人座席を多く配置するとともに、ラーニング・コモンズやパソコンコーナー、無線 LAN 環境を整え、学生の自主学習環境を整備した。

蔵書数は約 24,000 冊となっており、本学での新たな領域である看護分野をはじめ医療等関連分野、ならびに美浜キャンパスから一部移設した経済、国際福祉関連分野等の図書及び当該分野の新規購入図書などからなっており、今後さらに蔵書充実を図っていく。

東海キャンパスは、地域に開かれた“参加型”のキャンパスをコンセプトとしており、平成 27 年 2 月に、本学と東海市との間で包括連携に関する協定を締結した。これを受け、東海市との間で、東海分館施設の開放等に関する以下の取り決めを相互に確認した。

- ①東海市が選書・購入した一般図書（600 冊以上）、一般雑誌（20 種）を本学図書館が借り受け、一般市民、学生に貸し出すこと。
- ②そのためのスペースとして、東海分館内に「東海市図書コーナー」を設置すること。
- ③夏季・春季休暇期間は地域の高校生にも施設開放を行うこと

今後も 3 学部の学びをサポートするとともに、地域とつながる図書館づくりを大切にしていきたい。



個人座席スペース



内観（書架・個人座席スペース）

名城大学ナゴヤドーム前キャンパス図書館

〒461-8534 愛知県名古屋市中区矢田南四丁目102番9

<http://www.meijo-u.ac.jp/library/>

名城大学は平成28年4月1日の『ナゴヤドーム前キャンパス』開設に併せ、大学4番目の図書館として『ナゴヤドーム前キャンパス図書館』を新設いたしました。今回はこの図書館の概要と特色についてご紹介いたします。

●図書館の概要

本図書館はナゴヤドーム前キャンパス『東館』1階に位置しております。総面積は1,832.56㎡、閲覧座席数は292席、収納可能冊数は151,904冊となっております。

同キャンパスに在籍する学生と教職員の教育研究活動支援を使命としており、図書、雑誌、新聞、視聴覚資料、電子資料等、様々な形態の書籍や資料を取り揃えております。現在は『外国語学部』関連の図書が配架されておりますが、平成29年度からは『人間学部』『都市情報学部』の関連図書を学部の移転に併せて配架することとなり、最終的な蔵書数は12万冊を超える見通しとなっております。

●館内の特色

壁面を極力排除することにより館内の開放感を維持し、館奥は歩を進めるごとに静寂空間が広がるゾーンといたしました。

出入口ゲート付近には新着図書コーナーやブラウジングコーナーを設置し、気軽に図書館を利用してもらえるような雰囲気作りに努めました。

館内南側には大型机を2連で配置した協同学習等に使用できるスペースを、開架書架付近には個人用デスクを配置した個人学習者用スペースをそれぞれ設置いたしました。

視聴覚資料を利用するためのブース席は2名掛

け仕様のものを10席用意いたしました。

●ICTスマートキャンパス構想の実現に向けて

本図書館では名城大学の掲げる『情報通信技術[ICT]スマートキャンパス構想』実現の一端を担うべく、「ICT機器の導入及び電子図書館機能を有した図書館」をコンセプトにRFID棚管理システム『Reco Pick®』【注1】と電子図書館プラットフォーム『Book Looper』【注1】を採用いたしました。

ID情報を埋め込んだRFタグデータを非接触で読み取る『Reco Pick®』の導入により、利用履歴管理や蔵書点検の効率化、円滑な利用者サービスの提供等を推し進めることが可能となりました。

また、『Book Looper』の導入により、電子書籍（平成28年6月時点で1,108タイトルを所蔵。）をいつでも利用することが可能となりました。現在は英語教育の充実化を図るべく、英語軽読書をバリエーション豊かに取り揃えている状況です。

※【注1】：『Reco Pick®』『Book Looper』は共に『丸善雄松堂(株)』より提供を受けたものです。同社は本図書館のICT機器導入に際し、システムインテグレーターとして携わっております。



会 則 等

東海地区大学図書館協議会会則

(名 称)

第1条 本会は、東海地区大学図書館協議会と称する。

(目 的)

第2条 本会は、東海地区大学図書館の発展を図ると共に、図書館員の教養と技術の向上及び相互の親睦をはかることを目的とする。

(会 員)

第3条 本会は、前条の目的に賛同する東海地区（静岡、愛知、岐阜、三重）の国立、公立、私立の大学図書館その他これに準ずる図書館を以て組織する。

(事 業)

第4条 本会は、第2条の目的を達するために、次の事業を行う。

- 一 会員相互間の連絡提携
- 二 図書及び図書館に関する研究会、講習会、展覧会等の開催並びに後援
- 三 図書館運営に関する相談、指導
- 四 機関誌の発行
- 五 その他必要と認める事業

(会 長)

第5条 本会に会長を置く。

- 2 総会において会長館を選出し、その会長館の図書館長が会長となる。
- 3 会長の任期は、2年とする。但し、重任を妨げない。

(委員会)

第6条 本会に運営委員会及び機関誌編集委員会を置く。

- 2 委員会に関する事項は、別に定める。

(総 会)

第7条 会長は、毎年一回総会を招集する。

- 2 会場は、加盟館の輪番とする。

第8条 会長館は、協議事項（議題及び承合事項）をとりまとめ、審議運行の手続きを計る。

第9条 総会の票決権は、一館一票とし議決は出席館の過半数の賛成を要する。

(会 計)

第10条 本会の経費は、会費その他の収入をもってあてる。

- 2 会員の会費は、年額8,500円とする。

第11条 本会の会計事務を監査するため、監事を置く。

- 2 総会において監事館を選出し、その監事館の図書館長が監事となる。

- 3 監事の任期は2年とする。但し、重任を妨げない。

第12条 本会の予算は、毎年総会の議決を経て決定し、決算は監査を受けたのち、次の総会において承認を得るものとする。

第13条 本会の会計年度は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

(事務局)

第14条 会長館に、本会の事務局を置く。

- 2 事務局に、事務局長及び職員を置く。
- 3 会長館の事務部長、又はこれに準ずる者が事務局長となる。

(会則の変更)

第15条 この会則の変更は、総会の承認を得なければならない。

(附 則)

本会則は、昭和25年5月1日から施行する。

(附 則)

この改正は、昭和50年7月23日より施行する。

(附 則)

この改正は、平成27年8月21日より施行する。

東海地区大学図書館協議会

運営委員会規程

第1条 運営委員会は、本会の運営に関する事項を審議する。

第2条 運営委員会の構成は、国立大3、公立大3、私立大4、（短大1を含む）とする。

第3条 運営委員は、総会において選出する。

2 運営委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

3 前項の任期が満了しても、後任者が就任するまでは、なお、その任にあるものとする。

第4条 運営委員会に、委員長をおく。

2 運営委員長は、会長がこれに当たる。

3 運営委員長は、必要に応じ委員会を招集することができる。

第5条 運営委員会に、必要に応じて小委員会を置くことができる。

第6条 運営委員会の事務は、事務局内において行う。

附 則

この改正は平成12年7月19日から施行する。

事項を審議するため、運営委員会の下に研修企画小委員会（以下「小委員会」という。）を置き、必要な事項を定めることを目的とする。

（審議事項）

第2 小委員会は、次に掲げる事項を行う。

一 協議会が行う研修の企画に関すること

二 その他研修に関し、必要な事項

（小委員会の構成）

第3 小委員会は、次に掲げる委員館をもって構成する。

一 協議会会長館

二 国立、公立、私立の運営委員館から各1館

三 研修会会場館

2 小委員会に委員長館を置き、小委員会の互選による。

（小委員会の庶務）

第4 小委員会の庶務は、協議会事務局において処理する。

附 則

この内規は、平成12年10月6日から施行する。

東海地区大学図書館協議会

ホームページ小委員会内規

平成12年10月6日

運営委員会

（目的）

第1 この内規は、東海地区大学図書館協議会（以下「協議会」という。）のホームページ（以下「ホームページ」という。）に関し、必要な事項を審議するため、運営委員会の下にホームページ小委員会（以下「小委員会」という。）を置き、必要な事項を定めることを目的とする。

（審議事項等）

第2 小委員会は、次に掲げる事項を行う。

一 ホームページの運用・管理に関すること。

二 ホームページの企画・編集に関すること。

三 その他ホームページに関し、必要な事項。

（小委員会の構成）

第3 小委員会は次に掲げる委員館をもって構成する。

東海地区大学図書館協議会

機関誌編集委員会規程

1 機関誌の発行について、編集委員会を設ける。

2 編集委員は、会長の指名による。

3 編集委員会に、委員長を置く。

4 編集委員長は、会長がこれにあたる。

5 編集委員長は、必要に応じ委員会を招集することができる。

6 編集委員会の事務は、事務局内において行う。

東海地区大学図書館協議会

研修企画小委員会内規

平成12年10月6日

運営委員会

（目的）

第1 この内規は、東海地区大学図書館協議会（以下「協議会」という。）の研修に関し、必要な

- 一 協議会会長館
- 二 国立、公立、私立の運営委員館から各1館
- 2 小委員会に委員長館を置き、小委員会の互選による。

(小委員会の庶務)

第4 小委員会の庶務は、協議会事務局において処理する。

附 則

この内規は、平成12年10月6日から施行する。

東海地区大学図書館協議会ホームページ による情報発信に関わる申し合わせ

平成12年10月6日
運営委員会

1 情報発信の範囲

ホームページを通じて発信する情報は、次の各号に該当するものとする。

- ①協議会事業に関する情報
- ②協議会加盟館に関する情報
- ③その他ホームページ小委員会（以下「小委員会」という。）が必要と認めた情報

2 情報発信できる者の範囲

ホームページを通じて情報発信できる者は協議会加盟館とする。

3 情報発信の手続き

- ①ホームページを通じて情報発信しようとする者は、協議会事務局宛にHTML形式の文書をメールで送付するものとする。
- ②加盟館から送付された文書の内容は原則として変更しない。
- ③ホームページに掲載する文書の登録及び削除の決定は、小委員会が行う。但し、疑義があるときは、小委員会は運営委員会委員長と協議する。
- ④ホームページを通じて情報公開している者で、公開する情報の変更又は停止等の事由が生じた時は、速やかに協議会事務局に連絡する。
- ⑤小委員会は公開されたホームページの情報が不適当と判断した場合は、そのファイルを削

除し、リンクを切断することができるものとする。

4 ホームページ

当分の間、ホームページは名古屋大学附属図書館内のサーバーに置く。

表彰規程

第1条 東海地区大学図書館協議会会則第4条第5号に基づき加盟館の職員に対して行う表彰はこの規程の定めるところによる。

第2条 毎年総会の前日までに通算20年図書館に在職する者。

第3条 この規程による表彰は加盟館長の推薦により総会において行う。

第4条 表彰者には記念品及び感謝状を贈呈する。

第5条 この規程の改正は総会の議決によって行う。

附 則

この規程は、昭和44年10月29日から実施する。

表彰者推薦に関する申合せ

(昭和53年9月4日)

東海地区大学図書館協議会の加盟館に在職する者のうち、つぎの各項のいずれかに該当する者を推薦することとする。

- (1) 毎年総会の前日までに通算20年以上加盟館に在職する者。
 - (2) 毎年総会の前日までに通算25年以上図書館に在職し、かつ3年以上加盟館に在職する者。
- なお、(1)、(2)のいずれについても事務補佐員としての在職期間も加算するものとする。

「図書館職員基礎研修」実施に関する 分担金についての申合せ

(平成27年8月21日)

「図書館職員基礎研修」（以下、「基礎研修」という。）については、平成25年度東海地区大学図

書館協議会総会において、東海北陸地区国立大学図書館協会と共催することを決定した。これに伴う分担金の取り扱いについて以下のとおり定める。

1. 東海北陸地区国立大学図書館協会加盟館のうち、北陸地区に所在する4大学（以下、「北陸地区4国立大学」という。）から、基礎研修実施年度に限り、分担金を徴収することとする。
2. 分担金の金額は、前回の基礎研修開催に要した経費を、東海地区大学図書館協議会加盟館及び北陸地区4国立大学の合計数で除した値を基礎にして、その都度東海地区大学図書館協議会運営委員会で定める。

総会当番館一覧

東海地区大学図書館協議会 総会当番館一覧

回	年 月	館 名	県別	回	年 月	館 名	県別
1	昭 25. 6	名古屋大学	愛知	37	58.10	静岡薬科大学	静岡
2	26. 6	金城学院大学	〃	38	59. 9	南山大学	愛知
3	26.11	三重大学	三重	39	60.10	豊橋技術科学大学	〃
4	27. 5	愛知学芸大学	愛知	40	61. 6	中京大学	〃
5	27.10	名古屋工業大学	〃	41	62. 6	愛知県立大学	〃
6	28. 5	三重県立大学	三重	42	63. 6	愛知学院大学	〃
7	28. 8	名古屋市立大学	愛知	43	平成元 . 6	愛知教育大学	〃
8	29.10	静岡大学	静岡	44	2. 6	愛知大学	〃
9	30. 9	岐阜大学	岐阜	45	3. 7	静岡県立大学	静岡
10	31. 5	愛知大学	愛知	46	4. 6	中部大学	愛知
11	32.10	日本大学（三島）	静岡	47	5. 6	岐阜大学	岐阜
12	33. 6	名城大学	愛知	48	6. 7	名古屋学院大学	愛知
13	34. 9	岐阜薬科大学	岐阜	49	7. 6	岐阜薬科大学	岐阜
14	35.11	名古屋大学	愛知	50	8. 7	愛知大学	愛知
15	36.11	南山大学	〃	51	9. 7	浜松医科大学	静岡
16	37. 6	岐阜県立医科大学	岐阜	52	10. 7	日本福祉大学	愛知
17	38. 6	名古屋工業大学	愛知	53	11. 7	愛知県立看護大学	〃
18	39.10	愛知県立大学	〃	54	12. 7	愛知工業大学	〃
19	40.10	日本福祉大学	〃	55	13. 7	三重大学	三重
20	41.10	中京大学	〃	56	14. 7	金城学院大学	愛知
21	42.11	岐阜薬科大学	岐阜	57	15. 6	岐阜県立看護大学	岐阜
22	43.11	愛知学院大学	愛知	58	16. 7	南山大学	愛知
23	44.10	三重大学	三重	59	17. 7	名古屋工業大学	〃
24	45. 9	同朋大学	愛知	60	18. 7	名城大学	〃
25	46.10	名古屋市立大学	〃	61	19. 8	愛知県立芸術大学	〃
26	47.10	中部工業大学	〃	62	20. 8	愛知淑徳大学	〃
27	48.10	愛知教育大学	〃	63	21. 8	名古屋大学	〃
28	49.10	大同工業大学	〃	64	22. 8	名古屋外国語大学・ 名古屋学芸大学	〃
29	50. 7	愛知県立芸術大学	〃	65	23. 8	名古屋市立大学	〃
30	51. 6	市邨学園女子短期大学	〃	66	24. 8	中京大学	〃
31	52. 6	静岡大学	静岡	67	25. 8	静岡大学	静岡
32	53. 9	愛知工業大学	愛知	68	26. 8	中部大学	愛知
33	54. 9	静岡女子大学	静岡	69	27. 8	愛知県立大学	〃
34	55. 9	名古屋学院大学	愛知	70	28. 8	名古屋学院大学	〃
35	56.10	浜松医科大学	静岡	71	29. 8	豊橋技術科学大学（予定）	〃
36	57. 9	名古屋女子大学	愛知	72	30. 8	愛知大学（予定）	〃

国立→私立→公立→私立の順による

加盟館一覧

東海地区大学図書館協議会加盟館一覧

平成 28 年 12 月 1 日現在

図書館名	法人名	館長	郵便番号	住所	電話	FAX
(83)						
■ 岐阜県 ■	(14)					
朝日大学図書館	学校法人 朝日大学	板谷 雄二	〒 501-0296	瑞穂市穂積 1851-1	(058) 329-1051	(058) 329-0021
岐阜大学図書館	国立大学法人	福士 秀人	〒 501-1193	岐阜市柳戸 1-1	(058) 293-2184	(058) 293-2194
岐阜医療科学大学 図書館	学校法人 神野学園	中村 浩二	〒 501-3892	関門市平賀字長峰 795-1	(0575) 22-9401	(0575) 46-9570
岐阜経済大学図書館	学校法人 岐阜経済大学	竹内 治彦	〒 503-8550	大垣市北方町 5-50	(0584) 77-3527	(0584) 77-3528
岐阜県立看護大学 図書館	公立大学法人 岐阜県立看護大学	会田 敬志	〒 501-6295	羽島市江吉良町 3047-1	(058) 397-2304	(058) 397-2304
岐阜市立女子短期大学 附属図書館		道家 晶子	〒 501-0192	岐阜市一日市場北町 7-1	(058) 296-3123	(058) 296-3130
岐阜聖徳学園大学 図書館	学校法人 聖徳学園	小河 育恵	〒 501-6194	岐阜市柳津町高桑西 1-1	(058) 279-6416	(058) 279-1242
岐阜女子大学図書館	学校法人 杉山女子学園	生田 孝至	〒 501-2592	岐阜市太郎丸 80	(058) 214-9317	(058) 229-2222
岐阜保健短期大学 図書館	学校法人 豊田学園	岩久 文彦	〒 500-8281	岐阜市東鶉 2-92	(058) 274-5001	(058) 274-5260
岐阜薬科大学附属 図書館		伊藤 彰近	〒 502-8585	岐阜市三田洞東 5 丁目 6-1	(058) 237-3931	(058) 237-3631
情報科学芸術大学院 大学附属図書館		小林 昌廣	〒 503-0006	大垣市加賀野 4-1-7	(0584) 75-6803	(0584) 75-6803
中京学院大学 図書メディアセンター	学校法人 安達学園	中村 恵子	〒 509-6192	瑞浪市土岐町 2216	(0572) 68-4584	(0572) 68-4568
中部学院大学 附属図書館	学校法人 岐阜済美学院	正村 静子	〒 501-3993	関市桐ヶ丘 2 丁目 1 番地	(0575) 24-2243	(0575) 24-2434
東海学院大学・東海学 院大学短期大学部附属 図書館	学校法人 神谷学園	アンドリュース デュアー	〒 504-8511	各務原市那加桐野町 5-68	(058) 389-2969	(058) 371-9851
(12)						
■ 静岡県 ■	(12)					
静岡大学附属図書館	国立大学法人	澤田 均	〒 422-8529	静岡市駿河区大谷 836	(054) 238-4474	(054) 238-5408
静岡県立大学附属 図書館	静岡県公立 大学法人	小幡 壯	〒 422-8526	静岡市駿河区谷田 52-1	(054) 264-5801	(054) 264-5899
静岡県立大学短期大学部 附属図書館・静岡県立大 学附属図書館小鹿図書館	静岡県公立 大学法人	吉田 直樹 小幡 壯	〒 422-8021	静岡市駿河区小鹿 2-2-1	(054) 202-2617	(054) 202-2620
静岡産業大学図書館	学校法人 新静岡学園	浅羽 浩	〒 438-0043	磐田市大原 1572-1	(0538) 36-8844	(0538) 36-3580
静岡文化芸術大学 図書館・情報センター	公立大学法人 静岡文化芸術大学	宮田 圭介	〒 430-8533	浜松市中区中央二丁目 1 番 1 号	(053) 457-6124	(053) 457-6125
静岡理工科大学附属 図書館	学校法人 静岡理工科大学	小川 敏夫	〒 437-8555	袋井市豊沢 2200-2	(0538) 45-0231	(0538) 45-0230
聖隷クリストファー 大学図書館	学校法人 聖隷学園	荒川 靖子	〒 433-8558	浜松市北区三方原町 3453	(053) 439-1416	(053) 414-1146
東海大学付属図書館 清水図書館	学校法人 東海大学	川崎 一平	〒 424-8610	静岡市清水区折戸 3-20-1	(054) 334-0414	(054) 334-0862

図書館名	法人名	館長	郵便番号	住所	電話	FAX
東海大学短期大学部 図書館	学校法人 東海大学	中上 健二	〒 420-8511	静岡県葵区宮前町 101	(054)261-9527	(054)261-6865
常葉大学附属図書館	学校法人 常葉学園	畑 隆	〒 420-0911	静岡県葵区瀬名 1-22-1	(054)261-4499	(054)263-1164
日本大学図書館国際 関係学部分館	学校法人 日本大学	濱屋 雅軌	〒 411-8555	三島市文教町 2 丁目 31-145	(055)980-0806	(055)988-7875
浜松医科大学附属 図書館	国立大学法人	浦野 哲盟	〒 431-3192	浜松市東区半田山一丁目 20-1	(053)435-2169	(053)435-5140

愛知県 (50)						
愛知大学図書館	学校法人 愛知大学	西野 基継	〒 453-8777	名古屋市市中村区平池町 4 丁目 60 番 6	(052)564-6115	(052)564-6215
愛知医科大学医学 情報センター (図書館)	学校法人 愛知医科大学	佐藤 啓二	〒 480-1195	長久手市岩作雁又 1-1	(0561)61-5402	(0561)62-3348
愛知学院大学図書館 情報センター	学校法人 愛知学院	二宮 克美	〒 470-0195	日進市岩崎町阿良池 12	(0561)73-1111 (代表)	(0561)73-7810
愛知学泉大学図書館	学校法人 安城学園	浦田 葉子	〒 471-8532	豊田市大池町汐取 1	(0565)35-7097	(0565)35-1003
愛知教育大学附属 図書館	国立大学法人	西宮 秀紀	〒 448-8542	刈谷市井ヶ谷町広沢 1	(0566)26-2683	(0566)26-2680
愛知県立大学学術研究 情報センター図書館	愛知県公立 大学法人	中島 茂	〒 480-1198	長久手市茨ヶ廻間 1522-3	(0561)76-8841	(0561)64-1104
愛知県立芸術大学芸術 情報センター図書館	愛知県公立 大学法人	松野 修	〒 480-1194	長久手市岩作三ヶ峯 1-114	(0561)76-2963	(0561)62-0244
愛知工科大学附属 図書館	学校法人 電波学園	村上 新	〒 443-0047	蒲郡市西迫町馬乗 50-2	(0533)68-1135	(0533)68-0352
愛知工業大学附属 図書館	学校法人 名古屋電気学園	吉賀 憲夫	〒 470-0392	豊田市八草町八千草 1247	(0565)48-8121	(0565)48-2908
愛知産業大学・短期大学 図書館	学校法人 愛知産業大学	須賀 周平	〒 444-0005	岡崎市岡町字原山 12-5	(0564)48-4591	(0564)48-5113
愛知淑徳大学図書館	学校法人 愛知淑徳学園	平林美都子	〒 480-1197	長久手市片平二丁目 9 番地	(0561)62-4111 (代表)	(0561)64-0310
愛知東邦大学 学術情報センター	学校法人 東邦学園	高木 靖彦	〒 465-8515	名古屋市名東区平和ヶ丘 3-11	(052)782-1243	(052)781-0931
愛知文教大学附属 図書館	学校法人 足立学園	富田 健弘	〒 485-8565	小牧市大字大草字年上坂 5969-3	(0568)78-2211	(0568)78-2240
桜花学園大学図書館	学校法人 桜花学園	石月 静恵	〒 470-1193	豊明市栄町武待 48	(0562)97-1725	(0562)97-1703
金城学院大学図書館	学校法人 金城学院	出町 克人	〒 463-8521	名古屋市守山区大森 2-1723	(052)798-0180	(052)768-1066
至学館大学附属図書館	学校法人 至学館	西岡 茂子	〒 474-8651	大府市横根町名高山 55	(0562)46-1239	(0562)46-3860
自然科学研究機構 岡崎情報図書館	大学共同利用 機関法人	山本 正幸	〒 444-8585	岡崎市明大寺町西郷中 38	(0564)55-7191	(0564)55-7199
修文大学附属図書館	学校法人 修文学院	越川 卓	〒 491-0938	一宮市日光町 6 番地	(0586)45-2101	(0586)45-4410
椋山女学園大学図書館	学校法人 椋山女学園	福永 智子	〒 464-8662	名古屋市千種区星が丘元町 17-3	(052)781-6452	(052)781-3094
星城大学図書館	学校法人 名古屋石田学園	小林 康男	〒 476-8588	東海市富貴ノ台 2-172	(052)601-6000 (代表)	(052)601-6137
瀬木学園図書館	学校法人 瀬木学園	幸田 政次	〒 467-0867	名古屋市瑞穂区春敲町 2-13	(052)882-3152	(052)882-3170
大同大学図書館	学校法人 大同学園	神保 睦子	〒 457-8530	名古屋市南区滝春町 10-3	(052)612-6873	(052)612-6108
中京大学図書館	学校法人 梅村学園	佐藤 隆	〒 466-8666	名古屋市昭和区八事本町 101-2	(052)835-7157	(052)835-1249

図書館名	法人名	館長	郵便番号	住所	電話	FAX
中部大学附属 三浦記念図書館	学校法人 中部大学	岡崎 明彦	〒 487-8501	春日井市松本町 1200	(0568)51-4317	(0568)52-1510
同朋学園大学部 附属図書館	学校法人 同朋学園	大岡 訓子	〒 453-8540	名古屋市中村区稲葉地町 7-1	(052)411-1951	(052)411-1120
東海学園大学図書館	学校法人 東海学園	青山 広	〒 468-8514	名古屋市天白区中平 2 丁目 901	(052)801-1528	(052)804-1192
豊田工業大学 総合情報センター	学校法人 トヨタ学園	大石 泰丈	〒 468-8511	名古屋市天白区久方 2-12-1	(052)809-1743	(052)809-1744
豊田工業高等専門学校 図書館	独立行政法人 国立 高等専門学校機構	伊東 孝	〒 471-8525	豊田市栄生町 2-1	(0565)36-5904	(0565)36-5920
豊橋技術科学大学 附属図書館	国立大学法人	大貝 彰	〒 441-8580	豊橋市天伯町字雲雀ヶ丘 1-1	(0532)44-6562	(0532)44-6566
豊橋創造大学附属 図書館	学校法人 藤ノ花学園	宮原 英夫	〒 440-8511	豊橋市牛川町松下 20-1	(050)2017-2105	(050)2017-2115
名古屋大学附属図書館	国立大学法人	森 仁志	〒 464-8601	名古屋市千種区不老町	(052)789-3666	(052)789-3693
名古屋外国語大学・ 名古屋学芸大学図書館	学校法人 中西学園	諫早 勇一	〒 470-0188	日進市岩崎町竹ノ山 57	(0561)75-1726	(0561)75-1727
名古屋学院大学 学術情報センター	学校法人 名古屋学院大学	三井 哲	〒 456-8612	名古屋市熱田区熱田西町 1-25	(052)678-4092	(052)682-6826
名古屋経済大学・ 名古屋経済大学短期 大学部図書館	学校法人 市邨学園	田口 義明	〒 484-0000	犬山市字樋池 61-22	(0568)67-3798	(0568)67-9321
名古屋芸術大学附属 図書館	学校法人 名古屋自由学院	長田 謙一	〒 481-8503	北名古屋市熊之庄古井 281	(0568)26-3121	(0568)24-0393
名古屋工業大学附属 図書館	国立大学法人	内匠 逸	〒 466-8555	名古屋市昭和区御器所町	(052)735-5098	(052)735-5102
名古屋産業大学・名古屋 経営短期大学図書館	学校法人 菊武学園	菅井 径世	〒 488-8711	尾張旭市新居町山の田 3255-5	(0561)55-3081	(0561)55-5985
名古屋商科大学 中央情報センター	学校法人 栗本学園	浅野 一明	〒 470-0193	日進市米野木町三ヶ峯 4-4	(0561)73-2111 (代表)	(0561)73-1202
名古屋女子大学 学術情報センター	学校法人 越原学園	越原洋二郎	〒 467-8610	名古屋市瑞穂区汐路町 3-40	(052)852-9768	(052)852-1830
名古屋市立大学 総合情報センター	公立大学法人 名古屋市立大学	三澤 哲也	〒 467-8501	名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑 1	(052)872-5795	(052)872-5781
名古屋造形大学図書館	学校法人 同朋学園	東仲 雅明	〒 485-8563	小牧市大字大草字年上坂 6004	(0568)79-1255	(0568)47-0361
名古屋短期大学図書館	学校法人 桜花学園	小川 雄二	〒 470-1193	豊明市栄町武侍 48	(0562)97-1725	(0562)97-1703
名古屋文理大学 図書情報センター	学校法人 滝川学園	山住 富也	〒 492-8520	稲沢市稲沢町前田 365	(0587)23-2400 (代表)	(0587)21-2844
名古屋柳城短期大学 図書館	学校法人 柳城学院	村田 康常	〒 466-0034	名古屋市昭和区明月町 2-54	(052)841-2635	(052)841-2697
南山大学図書館	学校法人 南山学園	森山 幹弘	〒 466-8673	名古屋市昭和区山里町 18	(052)832-3163	(052)833-6986
日本赤十字豊田看護大学 図書館	学校法人 日本赤十字学園	上村 治	〒 471-8565	豊田市白山町七曲 12-33	(0565)36-5119	(0565)37-7897
日本福祉大学付属 図書館	学校法人 日本福祉大学	石井 文康	〒 470-3295	知多郡美浜町大字奥田字会下前 35-6	(0569)87-2325	(0569)87-2795
人間環境大学附属 図書館	学校法人 河原学園	川口 雅昭	〒 444-3505	岡崎市本宿町字上三本松 6-2	(0564)48-7815	(0564)48-7815
藤田学園医学・ 保健衛生学園図書館	学校法人 藤田学園	橋本 修二	〒 470-1192	豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98	(0562)93-2420	(0562)93-2649
名城大学附属図書館	学校法人 名城大学	山本 忠弘	〒 468-8502	名古屋市天白区塩釜口 1-501	(052)832-1151 (代表)	(052)833-6046

図書館名	法人名	館長	郵便番号	住所	電話	FAX
三重県 (7)						
皇學館大学附属図書館	学校法人 皇學館	外山 秀一	〒 516-8555	伊勢市神田久志本町 1704	(0596) 22-6322	(0596) 22-6329
鈴鹿医療科学大学附属 図書館	学校法人 鈴鹿医療科学 大学	藤原 芳朗	〒 510-0293	鈴鹿市岸岡町 1001-1	(059) 340-0337	(059) 383-9915
鈴鹿大学附属図書館	学校法人 享栄学園	石川 拓次	〒 510-0298	鈴鹿市郡山町 663-222	(059) 372-3950	(059) 372-2827
鈴鹿大学短期大学部 附属図書館	学校法人 享栄学園	石川 拓次	〒 510-0598	鈴鹿市郡山町 663-222	(059) 372-3950	(059) 372-3909
三重大学附属図書館	国立大学法人	加納 哲	〒 514-8507	津市栗真町屋町 1577	(059) 231-9083	(059) 231-9086
三重県立看護大学 附属図書館	公立大学法人 三重県立看護 大学	齋藤 真	〒 514-0116	津市夢が丘 1-1-1	(059) 233-5608	(059) 233-5668
津市立三重短期大学 附属図書館		楠本 孝	〒 514-0112	津市一身田中野 157	(059) 232-2341	(059) 232-9647

役員館一覧

東海地区大学図書館協議会役員館一覧（平成12年度～平成29年度）

年度	総会 当番館	研修会 会場館	会長館	運営委員会	機関誌編集 委員会	監事会	研修企画 小委員会	ホームページ 小委員会
			会長館	会長 国立3，公立3，私立4（短大1を含む） オブザーバ：総会当番館	会長 編集委員は会長の 指名	総会で選出，監事 館の図書館長が監 事となる	会長館 国立，公立，私 立の運営委員館 から各1館 研修会会場館	会長館 国立，公立，私 立の運営委員館 から各1館
平成 12 年度	愛知工業 大学	愛知教育 大学 名古屋 大学	名古屋 大学	三重大学 名古屋工業大学 静岡大学 愛知県立看護大学 名古屋市立大学 三重短期大学 相山女学園大学 大同工業大学 岐阜聖徳学園大学 名古屋短期大学	愛知教育大学 岐阜大学 名古屋工業大学 愛知県立大学 愛知学院大学	愛知県立芸術大学 名城大学	名古屋大学 三重大学 名古屋市立大学 相山女学園大学 研修会会場館	
平成 13 年度	三重大学	大同工業 大学 名古屋 大学						
平成 14 年度	金城学院 大学	名古屋 大学 名古屋 市立大学	名古屋 大学	愛知教育大学 岐阜大学 豊橋技術科学大学 愛知県立看護大学 名古屋市立大学 岐阜市立女子短期大学 相山女学園大学 金城学院大学 皇學館大学 愛知女子短期大学	愛知教育大学 岐阜大学 名古屋工業大学 愛知県立大学 愛知学院大学	愛知県立芸術大学 名城大学	名古屋大学 岐阜大学 愛知県立看護大学 金城学院大学 研修会会場館	
平成 15 年度	岐阜県立 看護大学	名古屋 大学 相山女学 園大学						
平成 16 年度	南山大学	名古屋 大学 岐阜大学	名古屋 大学	浜松医科大学 三重大学 名古屋工業大学 愛知県立看護大学 名古屋市立大学 ／静岡県立大学短期大学部（H17） 南山大学 中京大学 東海女子大学 名古屋経済大学短期大学部	愛知教育大学 岐阜大学 名古屋工業大学 愛知県立大学 愛知学院大学	愛知県立芸術大学 金城学院大学	名古屋大学 名古屋工業大学 名古屋市立大学 中京大学 研修会会場館	
平成 17 年度	名古屋工 業大学	中京大学 名古屋 大学						
平成 18 年度	名城大学	岐阜県立 看護大学 名古屋 大学	名古屋 大学	静岡大学 豊橋技術科学大学 愛知教育大学 愛知県立看護大学 名古屋市立大学 静岡県立大学短期大学部（H18） ／三重短期大学（H19） 名城大学 中部大学 中京女子大学 名古屋柳城短期大学	愛知教育大学 岐阜大学 名古屋工業大学 愛知県立大学 愛知学院大学	愛知県立芸術大学 南山大学	名古屋大学 静岡大学 名古屋市立大学 中部大学 研修会会場館	名古屋大学 豊橋技術科学大学 名古屋市立大学 中京女子大学
平成 19 年度	愛知県立 芸術大学	名古屋 大学 中部大学						
平成 20 年度	愛知淑徳 大学	浜松医科 大学 名古屋 大学	名古屋 大学	岐阜大学 浜松医科大学 三重大学 愛知県立看護大学（H20）／愛知県立大学（H21） 名古屋市立大学 津市立三重短期大学 愛知淑徳大学 同朋学園大学 豊田工業大学 鈴鹿短期大学	愛知教育大学 岐阜大学 名古屋工業大学 愛知県立大学 愛知学院大学	愛知県立芸術大学 名城大学	名古屋大学 浜松医科大学 名古屋市立大学 同朋学園大学	名古屋大学 三重大学 名古屋市立大学 豊田工業大学
平成 21 年度	名古屋 大学	同朋学園 大学 名古屋 大学						
平成 22 年度	名古屋外 国語大学・名古屋 学芸大学	静岡県立 大学 名古屋 大学	名古屋 大学	名古屋工業大学 静岡大学 豊橋技術科学大学 愛知県立大学 名古屋市立大学 岐阜市立女子短期大学 名古屋外国語大学・名古屋学芸大学 豊橋創造大学 名古屋学院大学 名古屋産業大学・名古屋経営短期大学図書館	愛知教育大学 岐阜大学 名古屋工業大学 愛知県立大学 愛知学院大学	愛知県立芸術大学 愛知淑徳大学	名古屋大学 静岡大学 名古屋市立大学 豊橋創造大学 静岡県立大学	名古屋大学 豊橋技術科学大学 名古屋市立大学 名古屋学院大学
平成 23 年度	名古屋 市立大学	豊橋創造 大学 名古屋 大学						
平成 24 年度	中京大学	三重大学 名古屋 大学	名古屋 大学	愛知教育大学 岐阜大学 浜松医科大学 愛知県立大学 名古屋市立大学 静岡県立短期大学部 中京大学 名古屋経済大学 名古屋芸術大学 名古屋柳城短期大学	愛知教育大学 岐阜大学 名古屋工業大学 名古屋市立大学 愛知学院大学	愛知県立芸術大学 名古屋外国語大学・ 名古屋学芸大学	名古屋大学 岐阜大学 愛知県立大学 名古屋経済大学 三重大学	名古屋大学 浜松医科大学 名古屋市立大学 名古屋芸術大学
平成 25 年度	静岡大学	名古屋経 済大学 名古屋 大学						

平成 26 年度	中部大学	愛知県立 芸術大学 名古屋 大学	名古屋 大学	静岡大学 名古屋工業大学 三重大学 愛知県立大学 名古屋市立大学 津市立三重短期大学 中部大学 名古屋外国語大学・名古屋学芸大学 名古屋商科大学 名古屋経済大学・名古屋経済大学短期大学部	愛知教育大学 岐阜大学 名古屋工業大学 名古屋市立大学 愛知学院大学	岐阜薬科大学 中京大学	名古屋大学 静岡大学 愛知県立大学 名古屋外国語大学・ 名古屋学芸大学 愛知県立芸術大学	名古屋大学 名古屋工業大学 名古屋市立大学 名古屋商科大学
平成 27 年度	愛知県立 大学	名古屋外 国語大学・ 名古屋学 芸大学 名古屋大学						
平成 28 年度	名古屋 学院大学	名古屋 工業大学 名古屋 大学	名古屋 大学	岐阜大学 愛知教育大学 豊橋技術科学大学 愛知県立大学 名古屋市立大学 岐阜市立女子短期大学 名古屋学院大学 南山大学 同朋大学・名古屋造形大学 桜花学園大学・名古屋短期大学	愛知教育大学 岐阜大学 名古屋工業大学 名古屋市立大学 愛知学院大学	愛知県立芸術大学 中部大学	名古屋大学 愛知教育大学 愛知県立大学 南山大学 名古屋工業大学	名古屋大学 愛知教育大学 名古屋市立大学 同朋大学・名古屋造形大学
平成 29 年度	豊橋技術 科学大学	名古屋 大学						

研修会一覧

東海地区大学図書館協議会研修会一覧（平成元年度～平成27年度）

年度	年月日	会 場	演 題	講 師	所 属
元	元.12.5	名城大学	学術情報サービスの展開と大学図書館	門條 司	化学情報協会
			アダム・スミスの蔵書をめぐって	水田 洋	名城大学
	2.1.31	名古屋大学	大学図書館の未来像	丸山昭二郎	鶴見大学
2	2.11.29	名古屋大学	Collection building について	川原 和子	三重大学
			大学図書館とニュー・メディア	橋爪 宏達	学術情報センター
	3.1.30	大同工業大学	『経済学文献季報』のデータベース化について－KEIS から KEIS II へ	山内 隆文	名古屋学院大学
			私の日本の古典文献とのつきあい	朝倉 治彦	四日市大学
3	3.11.8	名古屋学院大	ドイツ及び英国の図書館事情	牧村 正史	名古屋大学
			江戸時代の出版	長島 弘明	名古屋大学
	4.1.17	愛知県図書館	目録システムにおけるハイパーテキストの適用可能性	石塚 英弘	図書館情報大学
			新図書館概要説明及び見学	鈴木 康之	愛知県図書館
4	4.10.21	南山大学	慶應義塾大学の新しい試み－マルチメディアの統合－	原田 悟	慶應義塾大学
			図書館の施設計画に関連して	加藤 彰一	名古屋大学
	5.3.19	名古屋大学	カリフォルニア大学バークレー校の図書館システム	棚橋 章	名古屋大学
			電子情報サービスの新しい展開	寺村 謙一	丸善株
5	6.1.26	施設見学会：けいはんなインフォザール			
			シーボルトと中京の学者たち	武内 博	東京学芸大学
	6.3.23	愛知医科大学	大学図書館におけるコレクション形成・管理の意義と問題点	三浦 逸雄	東京大学
6	6.12.6	愛知学院大学	アメリカ図書館最新事情	渡辺 和代	名古屋アメリカンセンター
				川瀬 正幸	名古屋大学
			地域・館種を越えた図書館サービス－すべての図書館をすべての利用者に－	雨森 弘行	三重県立図書館
	7.2.22	施設見学会：三重県図書館			
7	7.10.27	名古屋大学	鯨と捕鯨の文化史	森田 勝昭	甲南女子短期大学部
			研究図書館としての電子図書館の事例－機能と運営－	渡辺 博	奈良先端科学技術大学院大学
	7.12.7	愛知工業大学	シンポジウム：利用者教育の在り方－方法と問題点－	光斎 重治 高橋 一郎 四谷あさみ 堀 茂 金子 豊	中部大学 愛知県立大学 愛知淑徳大学 名古屋大学 名古屋大学
8	8.10.24	名古屋大学	インターネット、イントラネットを前提とした図書館情報サービスの将来	後藤 邦夫	南山大学
			電子図書館の諸相：US Berkeley Digital Library Project と Ariadne97	谷口 敏夫	光華女子大学
	8.12.4	愛知淑徳大学	シンポジウム：NDC 新版9版について	石山 洋 万波 涼子 中井えり子 酒井 信	東海大学 名古屋市立大学 名古屋大学 名城大学

年度	年月日	会 場	演 題	講 師	所 属
9	9.10.30	名古屋大学	英国大学図書館における電子情報サービスの進展 フランス国立図書館 BNF	尾城 孝一 篠田知和基	東京工業大学 名古屋大学
	9.12.10	朝日大学	講演 歌うコンピュータ・描くコンピュータ－マルチメディア時代への布石－ フォーラム：マルチメディアと電子図書館－図書館機能におけるホームページ－	板谷 雄二 津田 明美 林 哲也 鈴木 康生 三浦 基	朝日大学 愛知工業大学 浜松医科大学 名古屋大学 南山大学
10	10.12.5	名古屋大学	テーマ：電子ジャーナルの”いま”と”こんご” 講演 デジタルメディアの現状と今後 電子ジャーナルの事例報告 EES, Science Direct FirstSearch, FirstSearch ECO Journals@ovid, HighWire Press	逸村 裕 エルゼビア 紀伊國屋書店 ユサコ	愛知淑徳大学
	10.12.16	岐阜経済大学	テーマ：大学図書館における電子情報サービスの実際 ネット時代の教育・研究環境と図書館の活用 電子情報サービスの事例報告	松島 桂樹 安田多香子 野村 千里 夏目弥生子	岐阜経済大学 愛知県立大学 南山大学 名古屋大学
11	11.11.2	名古屋大学	テーマ：著作権法と大学図書館 大学図書館にかかわる著作権問題 電子図書館サービスと著作権	石倉 賢一 山本 順一	千葉大学 図書館情報大学
	11.12.7	岐阜女子大学	テーマ：大学図書館と学生用図書 大学教育改革と学生用図書 事例報告	柴田 正美 江口 愛子 吉根佐和子 福井 司郎	三重大学 浜松医科大学 名古屋市立大学 中京大学
12	13.1.18	愛知教育大学	テーマ：大学図書館における相互協力 大学図書館における相互協力 事例報告	石井 啓豊 平井 芳美 濱口 幾子 加藤 直美	図書館情報大学 名古屋大学 愛知県立看護大学 愛知工業大学
	13.3.9	名古屋大学	テーマ：大学図書館の管理・運営 大学図書館の管理・運営 コンソーシアムを視野においた大学図書館の運営	長谷川豊祐 松下 鈞	鶴見大学 国立音楽大学
13	13.12.20	大同工業大学	テーマ：古文書の整理と保存：電子メディア変換（画像）による利用について 講演 古文書の整理と保存 事例報告 徳島大学附属図書館貴重資料高精細デジタルアーカイブ－21世紀地域ネットワークへの試み－	秋山 晶則 岡田 恵子	名古屋大学 徳島大学
	14.1.24	名古屋大学	テーマ：図書館の電子化と所蔵資料を核とした地域との連携 デジタル時代の図書館 所蔵資料の高度活用を目指して－地域の博物館・図書館等の連携－	逸村 裕 種田 祐司	名古屋大学 名古屋市博物館
14	14.12.13	名古屋大学	テーマ：学術情報の電子化を考える 講演 学術情報の電子化が意味するもの－研究者の立場から考える－ 事例報告 名古屋大学における電子ジャーナルの現状について	倉田 敬子 澄川千賀子・川添 真澄	慶應義塾大学 名古屋大学

年度	年月日	会 場	演 題	講 師	所 属
14	15. 3. 4	名古屋市立大学	テーマ：現代の大学図書館と著作権 講演 現代の大学図書館と著作権	土屋 俊	千葉大学
15	15.12.15	名古屋大学	テーマ：図書館のサービス・マネジメントと評価 講演 図書館のサービス・マネジメント：顧客の選好と評価	永田 治樹	筑波大学
	16. 2.19	椋山女学園大学	テーマ：SPARC の現状と SPARC/JAPAN の今後について 講演 SPARC の現状と SPARC/JAPAN の今後について	安達 淳	国立情報学研究所
16	16.12.17	名古屋大学	テーマ：電子的学術情報利用の進展と今後の展望 事例報告 名古屋大学の電子図書館化計画－機関リポジトリ構築計画を中心にして－ 医学系図書館の電子ジャーナル状況と日本医学図書館協会電子ジャーナルコンソーシアムの現状 電子ジャーナルの利点と課題－サイエンス・ダイレクトを例に－	郡司 久 坪内 政義 高橋 昭治	名古屋大学 愛知医科大学 エルゼビアジャパン
	17. 3. 3	ぱるるプラザ Gifu	テーマ：大学図書館におけるアウトソーシング 事例報告 日本福祉大学付属図書館におけるアウトソーシング アウトソーシングを活用した大学図書館運営－立命館大学における現状と課題－ アウトソーサーからみたアウトソーシング	岡崎 佳子 田中 康雄 図書館流通センター	日本福祉大学 立命館大学
17	17.12. 2	中京大学	テーマ：図書館情報リテラシー指導の現状－各大学の事例報告－ 基調講演 大学図書館と情報リテラシー	逸村 裕	名古屋大学
			事例報告 名古屋大学附属図書館における情報リテラシー教育 図書館情報リテラシー教育－小さな図書館、小さな学部での試み－ 中京大学図書館 情報リテラシー教育の現状 ニッチ戦略（隙間産業）で、大学に貢献できる情報リテラシー教育支援を目指す－三重大学附属図書館の取組－ 岐阜県立看護大学図書館における利用教育 大学ポータルを中心とした名古屋学院大学の情報環境	次良丸 章 原 泰子 春日井 正人 杉田 いづみ 井上 貴之 中田 晴美	名古屋大学 名古屋市立大学 中京大学 三重大学 岐阜県立看護大学 名古屋学院大学
	18. 1.30	名古屋大学	テーマ：利用者サイドに立つ図書館サービス 講演 北米大学図書館における利用者中心の図書館サービス	シャロン・ドマイヤー	マサチューセッツ大学
			利用者の利用行動に基づいた図書館サービス	越塚 美加	学習院女子大学
18	19. 1.12	岐阜県図書館	テーマ：大学図書館の地域連携 事例報告 相互利用協定と愛知県内図書館の ILL 定期便設置実証実験 静岡県内の大学図書館における連携について 岐阜県における公共図書館との連携図書館 東海目録（TOMcat）：病院図書室と大学図書館の連携 図書館の教育支援、地域支援：豊田高専の英語多読を通して	村上 昇平 大石 博昭 木村 晴茂 坪内 政義 西澤 一	愛知県図書館 静岡大学 岐阜大学 愛知医科大学 豊田工業高等専門学校
	19. 3. 7	名古屋大学	テーマ：Web2.0 時代の図書館サービス 基調講演 Web2.0 時代の図書館 講演 図書館利用者の情報探索活動に関する実証的研究 Web2.0 時代の新たな図書館サービスの展開	岡本 真 寺井 仁 林 賢紀	Academic Resource Guide 名古屋大学 農林水産省

年度	年月日	会 場	演 題	講 師	所 属
19	19.11.28	名古屋大学	「図書館職員基礎研修」 講義 大学図書館職員に求められているもの 資料の収集～目録・分類 電子情報（電子ジャーナル，データベース等）	雨森 弘行 河谷 宗徳 栗野 容子	お茶の水女子大学 三重大学 名古屋大学
	19.11.28	名古屋大学	図書館情報リテラシー教育 ILL 大学図書館の最近の動向・海外事情	紅露 剛 万波 涼子 松林 正己	南山大学 名古屋市立大学 中部大学
	20. 3. 5	中部大学	テーマ：魅力ある大学図書館をめざして 講演 どこから拓く？ 大学図書館の可能性－学習支援の視点から どこから拓いた－お茶大図書館活性化のための5つの作戦	井上 真琴 茂出木 理子	同志社大学 お茶の水女子大学
20	20.12.22	アクトシティ松浜	テーマ：図書館と著作権 講演 図書館業務と著作権 映像資料の利用と著作権法について	南川 貴宣 三浦 正広	文化庁著作権課 国士舘大学
	21. 3. 4	西尾市岩瀬文庫	テーマ：学芸員の世界 岩瀬文庫見学 講演 学芸員の仕事 －内藤記念くすり博物館の世界－ 学芸員の仕事 －岩瀬文庫の世界－	野尻 佳与子 林 知左子	内藤記念くすり博物館 西尾市岩瀬文庫
21	21.12. 3	同朋大学	「図書館職員基礎研修」 講義 大学図書館職員に求められているもの 資料の収集～目録・分類 電子情報（電子ジャーナル，データベース等） 情報リテラシー教育 ILL 大学図書館と広報	雨森 弘行 河谷 宗徳 栗野 容子 久田 睦美 榊原 佐知子 渡邊 敏之	前お茶の水女子大学 三重大学 名古屋大学 名古屋市立大学 愛知医科大学 名古屋造形大学
	22. 2.23 22. 3. 5 22. 3.10	名古屋大学	保存修復講演会・講習会 テーマ：図書資料の保存と修復 講演 紙資料の保存修復 講習会 修復実務講習会	金山 正子 岩田 起代子	元興寺文化財研究所 前 名古屋産業大学・ 名古屋経営短期大 学図書館
22	22.12. 9	名古屋大学	テーマ：実践で役立つレファレンス・ツール －国立国会図書館提供ツールを中心に－ 講義1 講義2	兼松 芳之	国立国会図書館
	23. 3.16	静岡県男女共同参画センターあざれあ	テーマ：電子書籍を中心とした資料のデジタル化の動向と図書館の今後 講演 変革期のデジタル化と図書館－国立国会図書館の動向を中心に－ 電子書籍の急速な普及と大学図書館	中井 万知子 竹内 比呂也	国立国会図書館関西館 千葉大学
23	23.12.15	名古屋大学	「図書館職員基礎研修」 講義 大学図書館職員に求められているもの 資料の収集～目録・分類 電子情報（電子ジャーナル，データベース等） ILL プレゼンテーション入門 カナダの大学図書館事情	加藤 信哉 河谷 宗徳 堀 友美 万波 涼子 近田 政博 ゴードン・コールマン	名古屋大学 三重大学 名古屋大学 名古屋市立大学 名古屋大学 静岡大学
	24. 3. 8	名古屋大学	テーマ：災害時における危機管理 事例報告 そのとき私たちができたこと－東北大学附属図書館が遭遇した東日本大震災－ 私の東日本大震災体験－図書館の被害と復旧を中心として	小陳 左和子 和知 剛	東北大学 郡山女子大学

年度	年月日	会 場	演 題	講 師	所 属
24	24.12.15	名古屋大学	テーマ：海外大学図書館にみる学習支援 報告 香港、シンガポール、オーストラリアの大学図書館におけるラーニング・コモンズの整備及び学習支援の現状 講演 大学図書館が実施する学習支援・教育支援サービス 北米の事例から見えるもの パネルディスカッション	山田 政寛 橋 洋平 森部 圭亮 仲秋 雄介 池上 佳芳 高橋 里江 神谷 知子 長澤 多代 近田 政博 (コーディネーター)	金沢大学 金沢大学 静岡大学 名古屋大学 金沢大学 静岡大学 名古屋大学 三重大学 名古屋大学
	25. 3.13	三 重 大 学	テーマ：図書館資料の補修について 講義 図書館における資料保存の基本的な考え方 実習 簡易な補修 - 破れのつくろい、外れたページの差し込み	大竹 茂 大竹 茂	国立国会図書館 国立国会図書館
25	25.12.13	名古屋大学	「図書館職員基礎研修」 講義 激動の時代を生き抜くために 情報リテラシー教育 ILL(相互貸借) 電子情報(電子ジャーナル、電子ブック、データベース等) 分類・目録 プレゼンテーション入門	白木 俊男 新海 弘之 草間 知美 島田 美津穂 林 和宏 揚野 敏光 近田 政博	富山大学 愛知県立大学 愛知大学 名古屋工業大学 名古屋大学 名古屋大学
	26. 3. 3	名古屋経済大学 (名駅サテライト キャンパス)	テーマ：西洋古典籍資料の整理・保存について 講演 歴史的製本の修理について 洋書の扉	岡本 幸治 高野 彰	製本家、アトリエ・ ド・クレ主宰 元跡見学園女子大学
26	26.12.19	愛知県図書館	テーマ：「機関リポジトリの基礎知識と最新動向」 講演 学術コミュニケーションの動向 機関リポジトリの実務 著作権・学位論文を中心に 事例報告 地域からの事例報告 全体質疑・意見交換	杉田 茂樹 三隅 健一 林 和宏 宮坂 昌樹 鈴木 雅子 (コーディネーター)	千葉大学 北海道大学 名古屋工業大学 愛知大学 静岡大学
	27. 2.16	静岡大学 (浜松キャンパス)	※静岡県大学図書館協議会と共催 テーマ：学生を振り向かせる！伝わるポスター作成術 講演 基礎) ポスター、チラシ、プレゼンテーションに必要な要素 理論) コミュニケーション理論から見た広報 実践) 便利なツール、テクニック、キャッチコピーの つくり方 広報カウンセリング ポスターを作ってみよう	はやのん	理系漫画家
27	27.12. 7	名古屋大学	「図書館職員基礎研修」 講義 「最近の図書館の動向 ～素敵な図書館と素敵なライブラリアンとの出会い～」 情報リテラシー教育 ILL(相互貸借) 電子情報(電子ジャーナル、データベース等) 分類・目録 グループ討議・発表	中村 直美 松森 隆一郎 加藤 直美 吉岡 文 小島 由香	愛知大学 愛知県立大学 愛知工業大学 浜松医科大学 名古屋大学
	28. 3. 7	名古屋外国語大学 ・ 名古屋学芸大学	テーマ：伝わる声の出し方・話し方 講演(実習含む)	赤間 裕子	声と話し方コンサル タント

「東海地区大学図書館協議会誌」掲載記事の電子的公開，転載，学術機関リポジトリでの公開について

- ・著作権は著作者本人にあります。
- ・著作者本人が，ホームページ等で電子的公開，転載，あるいは学術機関リポジトリへ搭載する場合，著作者本人からの申請書等の提出は必要ありません。

（平成 19 年 7 月 9 日 東海地区大学図書館協議会運営委員会（第 19－1 回）決定）

東海地区大学図書館協議会誌 第 61 号（2016）

平成28年12月22日印刷

平成28年12月26日発行

編集・発行 東海地区大学図書館協議会事務局
名古屋市千種区不老町 名古屋大学附属図書館内
電話 052-789-3666

ホームページ <http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/tokai/>

振込先 三菱東京UFJ銀行今池支店 普通預金 口座 1747229